

# 精神科領域専門医研修プログラム

■ 専門研修プログラム名：札幌医科大学附属病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

■ プログラム担当者氏名：石井貴男

住 所：〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

電話番号：011 - 611 - 2111 (内線 35180)

F A X：011 - 644 - 3041

E-mail：npsysapmed@gmail.com

■ 専攻医の募集人数：( 15 ) 人

■ 専攻医の募集時期：

日本精神神経学会または、札幌医科大学医学部神経精神医学講座のホームページ  
<https://npsy.sapmed.jp/> で告知する。

■ 応募方法：

下記担当者へ、メールあるいは電話で連絡する。その後、履歴書を送付する。

◆履歴書にはメールアドレスを記載のこと。

宛先：〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

プログラム担当：石井貴男

TEL：011-611-2111 (内線 35180)

FAX：011-644-3041

■ 採用判定方法：

診療科長・指導医が履歴書記載内容、筆記試験および面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

## I 専門研修の理念と使命

### 1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

### 2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

### 3. 専門研修プログラムの特徴

札幌医科大学は、大都市・札幌の中心に位置しつつ、北海道公設の大学として地域医療に貢献する、非常に特色ある医科総合大学であり、神経精神科では、単に診察室で最良の医療を行うことにとどまらず、地域全体のメンタルヘルス・リテラシーの向上を目指している。道内・道外で数多くの同門医師が地域精神医療、地域精神保健活動、あるいは研究・教育機関で活躍しており、特に、教室員一同は協力して道内の関連医療機関を拠点に地域医療に専心している。

基幹病院となる札幌医科大学神経精神科は、閉鎖病棟、隔離室を有し、また、札幌市内の数少ない総合病院有床精神科として、急性期、難治例、身体合併症などのケースに数多く対応しており、地域連携にも積極的に取り組んでいる。専攻医は入院患者の主治医となり、指導医の指導を受けながら、看護師、心理士、精神保健福祉士、作業療法士、薬剤師など多職種とチームを組み、各種精神疾患に対し、治療を行っていく。その際には、適切な病歴聴取と精神症状の把握に基づき、生物学的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、修正型電気療法などの治療を柔軟に組み合わせ、最善の治療を行うことを学んでいく。また、医療倫理、精神科関連法規、安全管理や感染対策の基礎についても研修する。研修の過程でほとんどの精神疾患、治療についての基礎的な知識を身につけることが可能である。また、リエゾン・コンサルテーションチームの一員としての治療参画や緩和ケアチームに参加しての研修も可能である。

連携施設として、北海道立江差病院、江別市立病院、砂川市立病院、北見赤十字病院、帯広厚生病院といった道内各地の主要医療機関を有しており、専攻医はこれらの施設をローテートしながら研鑽を積み、臨床精神科医としての実力を向上させつつ、専門医を獲得することが可能である。広大な北海道において、それぞれの地域性にあった医療の在り方や、その特色をいかした大学病院では十分に経験できないような研修を行うことができるのも有意義な点といえる。さらに、

児童思春期、認知症、アルコール・精神作用物質による精神障害などの専門治療を行っている単科精神科病院とも連携しており、希望に応じてこれらの施設での研修を行うことにより、さらに幅広い知識を習得することが可能である。

精神疾患の理解には、全人的な立場から、かつ脳機能的視点をふまえて、病態生理、診断、治療を理解し、患者・医師間の良好な信頼関係に基づいて全体をとらえることが重要である。そのため、本研修プログラムでは、十分な経験を有する複数の指導者による指導の下、「自分で考え、行ってみて、何を感じたか、何に気付いたか」という観点を大切にし、限られた期間で知識や経験を増やす一助として、自分だけではなくグループとして話し合うことで互いの経験を共有しやすいように、各種セミナーや症例検討などの場を活用できるよう工夫している。また、研修課程においては、イメージしやすい理解のための情報提供や、自分以外の視点や相手を慮ってのコミュニケーションなど相手の立場になって考えられるような、臨床医として適切な想像力および対応力を養うことにも力を入れている。

21世紀は「脳の世紀」と呼ばれるが、2010年からの10年間は「精神の10年」とも位置付けられ、神秘のベールに包まれた人間の心や行動と脳の関係の理解への挑戦が始まっている。精神は脳に宿るともいわれるが、精神疾患の病因解明・治療法開発には、ヒト脳高次機能の物質的基盤の探究やヒト相互のコミュニケーション過程の基盤の理解など、生物学的および社会心理学的な実践的知識の獲得への努力が欠かせない。札幌医科大学神経精神科では、今世紀における精神医学の課題につき、基礎研究、臨床研究、精神保健研究を通して多角的に取り組み、社会のさまざまな領域における心の健康問題へ寄与することを目指している。

## II. 専門研修施設群と研修プログラム

### 1. プログラム全体の指導医数・症例数

#### ■ 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数（概算）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	5,000	2,300
F1	2,300	900
F2	5,700	2,500
F3	9,500	2,100
F4 F50	6,200	1,000
F4 F7 F8 F9 F50	4,200	400
F6	600	80
その他	4,500	80

### 2. 連携施設名と各施設の特徴

#### A 研修基幹施設

- ・施設名：札幌医科大学附属病院
- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：土橋和文
- ・プログラム統括責任者氏名：河西千秋
- ・指導責任者氏名：河西千秋
- ・精神科病床数：（ 28 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	596	101
F1	52	14
F2	420	48
F3	866	121
F4 F50	723	51
F4 F7 F8 F9 F50	53	6
F6	237	6
その他	3,202	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

#### 【研修の特色】

当院は 26 診療科、938 床を有する医科系総合大学附属の、東北・北海道地域有数の大規模総合病院であり、教育研修の場として医師の育成に貢献し、特定機能病院、がん診療連携拠点病院や北海道唯一の高度救命救急センターの指定を受け、また各種の政策医療や厚生労働事業を担っている。また、広大な北海道における地域医療の拠点病院として、そして札幌とその周辺市民のための地域の中核病院としても大きな役割を担っている。

高度専門医療機関における神経精神科としては、主に難治性の症例を中心に、症状性・器質性精神障害（F1）と、統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）などの治療にあたっている。クロザピン治療、修正型電気けいれん療法（m-ECT）も行っている。また、もの忘れ外来、こどもクリニック、GID（性同一性障害）クリニックといった専門外来を擁し、さらにリエゾン・コンサルテーションチーム、緩和ケアチームも活発に活動しており、認知症、思春期症例、身体合併症治療、リエゾン・コンサルテーション、緩和医療など精神科臨床を幅広く経験できることも特徴である。GIDクリニックでは、産婦人科・泌尿器科・形成外科などと協働して、日本精神神経学会のガイドラインに準拠し、GIDの診断から治療までを一貫して行っている。手術の実施まで可能な大学附属病院は北海道内では当院が唯一であるだけでなく、全国的にかなり稀少である。リエゾン・コンサルテーションについては、高度救命救急センターと密接な連携をとっており、搬送される自殺企図患者に対して積極的な介入支援を行っている

当科は、本学建学の精神である、「進取の精神と自由闊達な気風」と「医学・医療へ攻究と地域治療への貢献」に則り、臨床から研究、教育まで、また精神保健から精神生物学まで幅広い視点と能力を身に着けた精神科医の養成に長年取り組んできている。人口約 230 万人の札幌医療圏における数少ない総合病院有床精神科のひとつとして、また、北海道全体の地域医療を支えていく上でも、当科の社会的存在意義は大きい。

その他、当科の特色としては、診療科・講座所属の臨床心理士と精神保健福祉士を多数抱えていることである。そのため、診療・研究・教育、地域貢献の各分野で、常に国公立大学では、固有のスタッフを抱えているところは稀であるが、当科では、自前のスタッフによる多職種医療チームを展開することができる。実際に、このメリットを活かしての研修医の面接技法やリスク・アセスメントのトレーニングを行い、また多職種による症例検討を定期的に行っている。また、再生医療の観点から精神生物学研究を行い、また当科のあらゆる診療活動・精神保健活動を臨床研究へと展開するなど、リサーチ・マインドの育成をも視野に入れた指導を行っている。

#### 【研修の内容】

基本的には、日本精神神経学会専門医制度指導医のスーパーバイズを受けながら、外来通院患者および病棟患者の担当医として診療を行い、専門医取得に必要な技術、知識の研鑽を行う。病棟および全体診療ミーティング、多職種での症例検討会は毎週定期的に行っており、特に専攻医は積極的な参加が求められる。外来・病棟での診療以外でも、精神科リエゾンチーム、緩和ケアチームに参加し、チームの一員として全病院的に必要なとされている質の高い精神科医療の提供を行う。また、もの忘れ外来、こどもクリニック、GID（性同一性障害）クリニックなどの専門外来にて、各個の希望に応じた専門性を高めることができる。また、高度救命センターと協同した自殺予防ケア・マネジメントにも多職種チームの一員として参加する。

専攻医は、研修期間中、各研究チームのミーティングに参加して、各研究分野での最新の動向や研究の進め方など、リサーチ・マインドを養う。専攻医および診療医は、年 2 回の北海道精神神経医学会あるいは、年 1 回の日本精神神経医学会での研究／症例発表を努力目標としており、そのためのサポートを上級医から受けることができる。毎週水曜日は、専攻医を対象とした実地的な教育セミナーや、各研究班が招聘した全国トップクラスの講師による研究セミナーが開催される。

## B 研修連携施設

### ① 北海道立江差病院

- ・施設形態：公立総合病院
- ・院長名：伊藤 靖
- ・指導責任者氏名：ドカティーン さくら
- ・精神科病床数：（ 48 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	263	3
F1	10	1
F2	104	13
F3	140	4
F4 F50	237	0
F4 F7 F8 F9 F50	164	2
F6	6	6
その他	50	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

#### 【研修の特色】

- ・ 当院は北海道南西部（檜山管内）における唯一の総合病院（総病床数 198床、うち精神科病床数48床）として、地域に根ざした診療を行っており、精神障害、若年者の精神障害、認知症を中心とした高齢者の精神障害の診療に力を入れております。
- ・ 急性期、慢性期の両方において、地域の患者とその家族と信頼関係を構築しながら治療することを学びます。
- ・ 総合病院精神科として、他科と連携しながら身体疾患を合併した患者の診療やリエゾン・コンサルテーションを行っております。
- ・ 保健所、行政が地元住民や職員のために開催するメンタル・ヘルス対策に

関わることができます。

- ・ 精神保健指定医取得のための症例を経験できます。特定の疾患に偏らずに多くの症例を経験できます。指定病床1床です。
- ・ 学会発表および症例報告（誌上発表等）のサポート、学会参加、研修を体験できます。

#### 【研修の内容】

- ・ 日本精神神経学会専門医制度指導医、あるいは精神保健指定医、あるいは上級医師による講義
- ・ 外来通院患者および病棟患者の担当医
- ・ 作業療法参加
- ・ 症例報告作成、学会などの発表原稿作成、精神保健指定医取得レポート作成
- ・ 集団精神療法や認知行動療法などの精神療法参加
- ・ 保健所または行政機関における地域精神保健相談



## ②江別市立病院

- ・施設形態：公立総合病院
- ・院長名：富山 光広
- ・指導責任者氏名：宮本 眞希守
- ・精神科病床数：( 59 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	120	38
F1	32	12
F2	420	48
F3	651	43
F4 F50	523	29
F4 F7 F8 F9 F50	23	2
F6	11	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

当院は当市以外の近辺の地域医療もになる公的総合病院である。当科は59床の精神科病棟を持ち、毎日平均100人の外来患者を診ている。そのため、小児から高齢者まで精神疾患、身体合併症の症例をリエゾン・コンサルテーション、外来初診、他の医療機関の紹介患者として経験することができる。多職種連携の経験を重ねてきたチーム医療とm-ECT、SPECT、ダットスキャンも可能な充実した施設環境によって、あらゆる疾患の患者の入院、外来治療を受け入れているため多くの、そして質の高い実践経験が可能である。

### 【研修の内容】

当院の特徴は高い技術と技量を持った多職種とのチーム医療であり、外来、リ

エゾン、病棟、地域医療での治療は多職種とのカンファレンスで検討され合意した方針で実施されるため、経験の浅い部分もカンファレンスで得られた情報と質の高い治療方針を身につけて実施することができる。

＊外来業務については週1回初診外来を担当。初診患者は予約制で1日3人まで50分枠の中でゆとりをもって初診の技量の研鑽・経験ができる。再診日は週2回あり、特に午後の再診指定患者に対して様々な精神療法的アプローチを実践できる。

＊病棟業務は5名程度の急性期入院患者の主治医となるが、他の医師も担当医になりケースカンファレンス、学習会で診断、治療方針について話し合いができる。また、入院治療は病棟カンファレンスを中心に実施されるため多職種協同での実践、院内多職種のみならず外部多職種も加わり、受け持ち患者の退院に向けて様々な福祉、介護サービスの有効な利用を学ぶことができる。

＊初診担当日のリエゾン依頼は全て受け持ち、身体疾患に合併する多くの精神症状の評価、治療を指導医の助言を受けながら経験できる。当院は札幌医療圏において精神科病棟を持つ数少ない総合病院の役割を積極的に担い、透析や悪性腫瘍等重篤な身体疾患の治療中に発症した精神疾患患者を他科との連携で他院から受け入れているため多彩な身体疾患合併症例の治療を経験できる。

＊また、当院は精神リハビリテーション部門を持ち、大規模デイケア、入院作業療法、外来作業療法、訪問看護、訪問作業療法を実施している。充実した施設環境の中で実施されるデイケアのプログラムの内容も多彩で受け持ち患者が社会技能を高めデイケアの中で改善していく過程を実感できる。精神保健福祉士・訪問看護師・訪問作業療法士との連携で外来患者の家庭での多くの情報を共有し、家族も含めたケースへの早期の介入で病状悪化の予防をして、病状が安定し改善していくことを学べる。

### ③砂川市立病院

- ・施設形態：公立総合病院
- ・院長名：田口 宏一
- ・指導責任者氏名：内海 久美子
- ・精神科病床数：( 80 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	4,176	1,000
F1	18	54
F2	3,222	300
F3	4,302	200
F4 F5	1,962	100
F6 F7 F8 F9	324	50
F10	144	1
その他	1,300	100

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

#### 【研修の特色】

当院は地域の基幹病院・救急救命センター・がん診療拠点病院・災害拠点病院・認知症疾患医療センター・老年精神医学専門医研修施設であり、22 診療科からなる総合病院です。全病床数は 498 床で、そのうち精神科病床は 80 床。その内訳は高齢者病棟 40 床、急性期治療病棟（閉鎖病床 20 床、開放病床 20 床）からなり、精神科救急から身体合併症の対応まで、幅広く研修できる施設です。

精神科病棟には、3 床の精神科 ICU が設置され、院内外からの重篤な身体合併症をもった患者を受け入れ他科医師との連携によって治療をおこない、精神疾患のみならず身体合併症についても研修できるシステムとなっています。

また認知症疾患医療センター指定医療機関として、当科の新患数は毎年 800 名前後の 6 割は認知症疾患で占められており、多くの認知症診断・治療を経験できます。認知症ケアチームおよびリエゾンチームが稼働しています。またがん拠点病院であるため、緩和ケアチームによる活動にも参加できます。

#### 【研修の内容】

研修内容として、初期研修で習得した精神症状に対する知識・診療技術を生かし、更に幅広い臨床経験を積み、精神保健福祉法が定める指定医や、精神医学学会指導医および老年精神医学会指導医の下、精神保健指定医・精神医学学会専門医・老年精神医学会専門医の取得を目指します。

新患担当日は週に 1 回で、3 人の新患を診ます。再診担当日は週に 2 回で、日に 40～50 名を担当します。入院患者は、約 20 名前後担当します。週に 1 回、ドクターカンファレンスで指導医からのスーパーバイズを受け、診断・治療方針の指導を受けます。

入院患者についての多職種カンファレンスは、週に 2 回開催してチーム医療を体験します。

また当院では週に 1 回、精神科・神経内科・脳外科の 3 科が協働診療するもの忘れ専門外来を開設しておりその診察も担当してもらい、症例については、3 科のドクターとコメディカルスタッフが参加するもの忘れ外来カンファレンスで、症例をプレゼンテーションしたり、他科ドクターやコメディカルスタッフの意見を聞くことは、診療技術を身につけるのには絶好の機会となっています。

また地域活動としては、“NPO 法人 中空知地域で認知症を支える会”の一員として研修会や講演会に参加して、地域のかかりつけ医・ケアスタッフとの連携を肌で体験していけるシステムになっています。

#### ④北見赤十字病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：吉田 茂夫
- ・指導責任者氏名：嶋田 進一郎
- ・精神科病床数：( 40 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	118	7
F1	135	26
F2	668	103
F3	645	44
F4 F50	299	8
F4 F7 F8 F9 F50	15	2
F6	15	2
その他	736	52

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

#### 【研修の特色】

当院は北海道オホーツク圏において唯一の救命救急センターを有し、地方センター病院、小児救急・がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院等、様々な高度機能を担う、地域中核である急性期病院です。あらゆる疾患が集中しており豊富な症例を経験できます。全24診療科を擁する総合病院として身体合併症を併存する精神疾患及びリエゾン精神医学的診療のほか精神科救急も行っており、また外来新患なども多くデイケアも併設しているため、せん妄、自殺企図、急性および慢性の精神病状態、統合失調症、神経症、摂食障害、気分障害、痴呆など、多様な精神疾患の診療を経験することができます。また、当院は措置入院に係る指定病院であり、精神保健指定医取得のための症例を経験できます。

- ・ リエゾン精神医学、精神科救急医療を中心にした都市型総合病院精神科とは違い、それらに加え、北見市や近隣市町村の地域精神医療システムの拠点としての役割を担っています。
- ・ 当科では、従来から地域の保健・福祉行政や精神保健団体（家族会、回復者クラブ、共同作業所、断酒会、共同住居、提携下宿など）と連携してコミュニティケアを実践してきた実績があります。
- ・ 高齢化に伴う認知症性疾患や、ストレス時代を反映したうつ病・心身症などのストレス関連疾患が増加していますが、当院での市民健康講座、こころのボランティア講座、各保健センター、各種団体・企業でのメンタルヘルスやストレス・認知症マネジメントについての啓蒙普及活動も積極的に行っています。また、認知症疾患医療センターを開設し、本センターでは本人・家族はもちろん、地域からの相談を精神保健福祉司が受け、専門医による鑑別診断・治療方針の選定や医療・保健・福祉・介護に関する研修会を企画しています。
- ・ 学会発表などの学術活動を奨励します。また、精神保健指定取得のための症例を経験できます。
- ・ アルコール集団療法が当科患者以外の方やその家族も参加できるようにオープン形式で行われています。

#### 【研修の内容】

- ・ 外来研修  
外来初診患者の外来における精神科的な診察の方法、再診時の陪診を継続。
- ・ 病棟研修  
精神科病棟において担当医として入院患者を受け持ち、精神疾患患者の診療及び経験しておくべき疾患または病態を中心に2～3例を担当。
- ・ 他科病棟の研修  
他科入院中に精神症状を合併した身体疾患患者への対応と治療。
- ・ 救急研修  
救急外来に日中来院した精神科救急領域の患者の診療。
- ・ 精神科デイケアおよび地域精神保健福祉活動の見学  
指定の曜日にデイケアプログラムに参加。訪問看護に同伴、ほのぼの会（共同作業所、グループホーム）、生活支援センター、保健所（デイサービス）を見学し、それらのミーティングに同席、参加。
- ・ カンファレンス等による研修  
症例検討会、カンファレンス、回診等に出席し、研修内容を充実。

⑤北海道厚生農業協同組合連合会 帯広厚生病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：菊池 英明
- ・指導責任者氏名：古瀬 研吾
- ・精神科病床数：( 45 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	413	27
F1	40	13
F2	415	52
F3	710	38
F4 F50	540	19
F4 F7 F8 F9 F50	67	8
F6	11	6
その他	150	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

- ・当院は十勝医療圏の3次救急を担い、651床（うち精神科45床）を有する総合病院として、地域に根ざした診療を行っています。
- ・総合病院精神科として、精神科救急医療、身体合併症治療や他科とのリエゾン・コンサルテーション精神医学にも力を入れています。
- ・当院は措置入院に係る指定病院であり、精神保健指定医の資格取得のための症例も経験できます。
- ・学会発表および症例報告（誌上等）のサポート、学会参加、研修を体験できます。

### 【研修の内容】

へき地医療拠点病院として、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチ・マインドを持った、診療医等を養成することを目的とします。

- ・日本精神神経学会専門医制度指導医、精神保健指定医、あるいは上級医師による講義
- ・外来通院患者 および病棟の担当医
- ・症例報告作成、学会などの発表原稿作成、精神保健指定医取得レポート作成



## ⑥医療法人北仁会 旭山病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：市来 和政
- ・指導責任者氏名：白石 将毅
- ・精神科病床数：( 339 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	120	137
F1	571	304
F2	434	250
F3	424	134
F4 F50	119	26
F4 F7 F8 F9 F50	295	54
F6	24	9
その他	18	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

- ・ 依存症治療で長年の歴史と実績があり、多職種によるチーム医療の実践を経験できます。
- ・ 平成 26 年度から認知症の病棟を開設し、周辺症状の早期改善を目指した特徴的看護ケア（カンファタブルケア）と協同した老人医療を学べます。
- ・ 地域移行機能強化病棟における多職種チームによる退院支援の取り組みの実践を学べます。
- ・ 日本精神神経学会専門医制度指導医が 6 名在籍しております。

- ・ 精神保健指定医取得のための症例を経験できます:平均入院数 340.4 名(360 床) / 日、平均外来数 143.3 名 / 日 (いずれも平成 27 年 10 月) で、特定の疾患に偏らずに多くの症例を経験できます。指定病床 10 床です。
- ・ 学会発表および症例報告 (誌上発表等) のサポート、治験を体験できます: リサーチ経験がある日本精神神経学会専門医制度指導医によるリサーチ・マインド育成を目指した指導が可能です。

#### 【研修の内容】

- ・ 日本精神神経学会専門医制度指導医、あるいは精神保健指定医、あるいは上級医師による講義
- ・ 外来通院患者および病棟患者の担当
- ・ 訪問看護同行
- ・ 作業療法参加
- ・ 症例報告作成、学会などの発表原稿作成、精神保健指定医取得レポート作成
- ・ 集団精神療法や認知行動療法などの精神療法参加

⑦医療法人北仁会 石橋病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：白坂 知信
- ・指導責任者氏名：白坂 知信
- ・精神科病床数：( 372 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	79	79
F1	345	239
F2	285	198
F3	328	63
F4 F50	209	26
F4 F7 F8 F9 F50	260	34
F6	20	7
その他	146	3

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

- ・地域医療：札幌市から離れた小樽市に立地された病院です。小樽市のみならず、従前より、岩内協会病院精神科への診療支援がなされています。加えて地域の保健師や福祉職員との連携事業も進めており、過疎地・地域医療を学べます。小樽後志地区における「地域中心医療（地域ネットワーク）」は、以下の2本の柱から成立しており、以下の方策により、後志・小樽管内では、他の地域に先駆けて、精神科地域医療を実践しています。
  - A) 小樽市精神保健協会にアルコール薬物専門部会を立ち上げ、後志管内の全精神科病院、全保健所、福祉事務所をメンバーとして、アルコール・薬物依存症の1次～3次予防対策を行ってきました。尚、例会（4回／年）、事例検討会を実施し、地域メンバー育成も行っています。

B)道立保健所を中心に、市町村の保健師や介護保険のヘルパー、ケアマネジャー、警察、消防、民生委員、民間ボランティアと毎月例会を実施。尚、当初は、アルコール・薬物依存症への支援システムでしたが、このシステムを応用し、現在は、統合失調症圏、気分障害圏、認知症、および、引きこもり等への地域援助システムへ、その対象を広げています。医師が地域へ出向き、「生活者の視点」で、地域全体で患者さんを支援することの大切さを学ぶことができます。また、援助者ネットワーク（顔のみえるネットワーク）を作ることで、地域医療を「住民の視点」で援助する必要性を学びます。

- ・ 小樽後志地区に位置する病院の地域連携担当者による小樽後志地域医療連携連絡会議（通称“えぞ富士ネットワーク”）への参加を通じて、顔の見える関係を作り地域全体での医療支援活動を行っています。
- ・ アルコール・薬物依存症治療：多様な依存症治療（ネット依存、摂食障害、自傷など）で長年の歴史と実績があります
- ・ 精神保健指定医取得のための症例を経験できます：平均入院数 352.3 名（384 床）／日、平均外来数 114.9 名／日（いずれも平成 27 年 10 月）で、特定の疾患に偏らずに多くの症例を経験できます。措置指定病床 20 床です。

#### 【研修の内容】

- ・ 日本精神神経学会専門医制度指導医、あるいは精神保健指定医、あるいは上級医師による講義
- ・ 外来診療の陪診
- ・ 病棟診療の陪診
- ・ 外来通院患者および病棟患者への対応（担当医としての対応を求められる）
- ・ 訪問看護同行
- ・ 作業療法参加
- ・ 症例報告作成、学会などの発表原稿作成、精神保健指定医取得レポート作成
- ・ 集団精神療法や認知行動療法などの精神療法参加
- ・ 精神科の地域臨床予防活動への参加：医療と地域保健、福祉、ボランティアとの合同での研修会への参加
- ・ 国立久里浜病院でのアルコール依存症研修、薬物依存症研修会への参加など、学会や研修会等への参加は可能な限り、承認しています。

⑧医療法人 社団博仁会 大江病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：大江 平
- ・指導責任者氏名：大江 平
- ・精神科病床数：( 154 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	984	181
F1	39	31
F2	73	137
F3	325	103
F4 F50	257	11
F4 F7 F8 F9 F50	114	23
F6	59	8
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

単科の精神科病院である当院（154 床）は常勤医 6 名（精神科 5 名、内科 1 名）、非常勤医師 1 名で入院・外来治療を行っています。一般の精神疾患治療に加え、認知症疾患医療センターに指定されており、認知症疾患に関する鑑別診断、急性期治療、医療相談に力を入れています。指定病床については 1 床を有しています。十勝全域の包括支援センターと連携をとりながら認知症初期集中支援にも積極的に協力しています。平成 26 年 4 月に開設したクリニックには常勤医師を 2 名配置し、一般外来診療、リカバリープログラムを中心としたデイケア、訪問看護、専門職がチームとなって医療と福祉を含めた総合的な支援を行う ACT の拠点となりアウトリーチに力を入れています。

- ・ 認知症疾患医療センターに指定されていることから認知症鑑別診断、治療実績が豊富です。重度認知症治療病棟での急性期治療も可能で診断・検査から治療・生活支援まで幅広く研修が可能です。
- ・ クリニック部門では ACT の一員となり重度の精神障害者への訪問診療を行うことにより地域医療やアウトリーチについて学びます。
- ・ 地域精神保健分野において優れた活動が行われており、高い評価を得ています。WHO からもベストプラクティスに選ばれた地域リハビリテーションプログラムについて研修する事が出来ます。また研修期間中にアメリカ合衆国ウィスコンシン州マディソン郡の精神保健システムについて実際に現地に実習に行き、そのシステム及び理念について学ぶプログラムを実施しています。

### 【研修の内容】

研修の概略：研修時間は、原則、月曜日から金曜日（午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分）とし、指導医の指導の下、以下の研修を行います。

#### （1）病棟業務

- ・ 研修医は適当数の閉鎖病棟及び開放病棟の患者の主治医として関わり、急性期の入院から退院までの治療計画を作成し、指導医の指導の下、実際に治療に当たる。治療を行うにあたりケースカンファランスを適宜開催し、病態の理解と治療計画の再構築を行いながら精神科医としての技術を習得する。また退院に際しては患者の回復に必要な社会資源を理解し、利用するための知識と方法を習得する。また、慢性患者の社会復帰促進のための方法を習得し実践する。
- ・ 病棟カンファランスは各病棟（閉鎖病棟、開放病棟、認知症治療専門病棟）週 1 回開催。
- ・ 医局カンファランスは適宜開催される（研修医は必要に応じ指導医の指導を随時受けられる。また指導医は必要に応じカンファランスを開催する）。

#### （2）外来業務

- ・ 研修医は外来診察を行い（研修初期は指導医の診察に同席することで診察技法を学ぶ）様々な症例を経験する。また入院治療への移行の是非の判断を習得する。
- ・ 入院が必要か否かの判断が困難であるか、入院が必要と判断した際に患者がそれを拒否した際には、指導医（当院では指導医全員が精神保健指定医である）の診察が随時受けられる。

#### （3）院外研修

- ACTに参加し、訪問診療に同行する。
- 訪問看護への同行。
- 研修医は院外の研修会・講演会・学会に出来る限り参加し、知識を習得し技術を研鑽する。
- 十勝地区病院・診療所合同カンファランス 原則毎週月曜日
- 学会参加 随時可能（当院規定により研修費支出）

### ⑨社会医療法人 北の峰病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：久保 昌己
- ・指導責任者氏名：西出 和正
- ・精神科病床数：( 170 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	523	101
F1	26	14
F2	258	90
F3	439	41
F4 F50	88	4
F4 F7 F8 F9 F50	6	10
F6	20	1
その他	237	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

#### 【研修の特色】

当院は北海道富良野医療圏で唯一の単科精神科病院であり、地域に根差した診療を行っております。当医療圏の精神疾患の患者は基本的に当院でほぼ全て対応するため、急性期・慢性期の精神病圏や気分障害、依存症、神経症、認知症、発達障害や知的障害、てんかん、児童思春期など、幅広い症例の経験が可能です。保健所、行政等とも密に連絡・連携をとり、地域で暮らす患者やその家族がどのように生活しているか確認し、協力体制を築きながら診療にあたり生活を支援する、地域精神医療を学ぶ事ができます。日中だけでなく夜間の精神科救急事例にも対応しています。富良野医療圏の精神病床を有していない病院、診療所との連携も行っており、せん妄をはじめとするコンサルテーション精神医学についても学ぶ事ができます。

病床数は170床であり、一日の平均外来患者43.6人（年間外来患者約1700名）、平均入院患者162.9名（年間入院患者約260名）です（いず



れも平成30年3月時点)。常勤医6名、非常勤医1名が在籍し、うち日本精神神経学会専門医制度指導医が2名、精神保健指定医が6名おります。

多岐に渡る精神疾患に幅広く対応しており、また措置入院に係る指定病院でもあるため(指定病床2床)、精神保健指定医取得のための症例も経験できます。その際、日本精神神経学会専門医制度指導医及び精神保健指定医が臨床面及びレポート執筆での指導を行います。

#### 【研修の内容】

- ・外来では初期は指導医の診察に同席し診察・治療技法を学び、後に定期通院患者の再診の診療枠を担当(週1~2回から)。新患についても初診時から診療に携わり、主治医として診断、治療介入をする経験を積む。また入院治療の必要性の判断についても習得を目指す。
- ・病棟では入院患者の主治医として診療を担当。治療計画の立案、治療介入、コメディカルとの連携、家族との面接を通して退院支援に至るまで、主治医としての一貫した経験を積む事を目指す。
- ・外来・入院共に、日本精神神経学会専門医制度指導医や精神保健指定医、上級医師がスーパーバイズを行い、適宜症例についての検討や指導を行う。
- ・精神保健指定医取得のための症例の経験、レポート作成
- ・保健所、行政機関における地域精神保健相談への参加
- ・院外の研修会・講演会・学会参加・学会発表の奨励
- ・指導医のバックアップのもと当直業務、救急事例等への対応

## ⑩医療法人社団 五稜会病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：中島 公博
- ・指導責任者氏名：中島 公博
- ・精神科病床数：( 193 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	13	4
F1	113	24
F2	50	192
F3	887	191
F4 F50	150	27
F4 F7 F8 F9 F50	1,134	251
F6	21	4
その他	50	11

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

当院は、193床の単科精神科病院です。急性期を中心に統合失調症、うつ病、神経症性障害、摂食障害、思春期症例、アルコール依存症が多く、研修期間中は、ほぼ全ての精神疾患について診断・治療する能力が習得できます。様々な症例を経験することが出来ますので、日本精神神経学会精神科専門医・精神保健指定医取得は十分に可能です。精神科専門医・精神保健指定医のレポート作成に際しては、熟知した指導医により丁寧な指導を受けることができます。当院ではこれまでに、複数名が精神科専門医・指定医を取得しています。また、消化器内科、循環器内科、外科、皮膚科の非常勤医師が勤務していますので、単科精神科病院では不十分な身体疾患の対応も十分にカバーができます。修正型の m-ECT も実施しています。

当院のストレスケア・思春期病棟は、ストレス関連疾患や思春期に特化しており、一般の精神科病院との違いは歴然としています。勤労者のための職場復帰プログラム（リワーク・ウィルジ）やデイケア（女性と思春期を対象としたグループも用意しています）も充実しています。

- ・ 臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士等のコ・メディカルを多数揃え、チーム医療を重視していますので、働きがいのある雰囲気となっています。院内では心理との勉強会、薬理勉強会、症例検討会、研修会などがあり、研究発表などの指導を受けることにより、専門医としてのレベルアップを目指します。
- ・ 精神保健指定医取得のための症例を経験できます：年間入院患者数 600 名、平均入院数 180 名（193 床）／日、平均外来数 200 名／日（いずれも平成 30 年 1 月）で、特定の疾患に偏らずに多くの症例を経験できます。指定病床 10 床です。
- ・ 中学生以降の思春期の症例が多いのが特徴です。入院者の 1 割は 10 代です。
- ・ 学会発表および症例報告（誌上発表等）のサポート、臨床薬理治験を体験できます。リサーチ経験がある日本精神神経学会専門医制度指導医によるリサーチ・マインド育成を目指した指導が可能です。
- ・ 長期入院者の退院支援を積極的に推し進めています。訪問看護、デイケアでの精神科リハビリテーションなど、精神障害者の地域医療に貢献しています。
- ・ 司法精神医学として、医療観察法の鑑定入院、起訴前の鑑定入院、裁判所嘱託の鑑定入院の鑑定医の補助を行うことが可能です。指導医は日本司法精神医学会の認定鑑定医です。

#### 【研修の内容】

- ・ 外来通院患者および病棟患者への対応（担当医としての対応を求められる）
- ・ 作業療法参加、訪問看護同行
- ・ 集団精神療法や認知行動療法などの精神療法参加
- ・ 日本精神神経学会専門医制度指導医、精神保健指定医、上級医師による講義
- ・ 心理医局勉強会参加
- ・ 薬理勉強会参加
- ・ 症例報告作成、学会などの発表原稿作成、精神保健指定医取得レポート作成

⑪医療法人社団大蔵会 札幌佐藤病院

- ・施設形態：医療法人社団
- ・院長名：吉野 實
- ・指導責任者氏名：山田 真吾
- ・精神科病床数：244床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	655	49
F1	223	20
F2	1,315	194
F3	2,237	147
F4 F50	2,755	48
F4 F7 F8 F9 F50	231	12
F6	40	2
その他	105	3

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

当院は、都市型精神科病院として、ベッド数244（急性期30、認知症60、一般106、療養48）、年間入退院数450名、1日100名を超える外来患者を擁し、それに対応する医師15名（精神科10名）がいる。

また、サテライトクリニック、3つの訪問看護ステーション、デイケア・ナイトケア、デイナイトケア、複数の認知症デイケア、リハビリテーション、外来作業療法、地域医療連携室、治験事務局、10を超える関連共同住居（小規模多機能住宅も含む）など、様々な院内外の精神科医療ネットワークを持ち、看護師、介護士、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、医療事務、OT、PT、PSWや心理士、住居世話人など300人を超える多職種が、高度な専門性をもち、包括的精神科地域医療を展開している。

患者層は児童思春期を除く全てで、近年は認知症や、身体合併症患者が多い。

しかし、内科複数名・整形外科1名の常勤医がおり、他科コンサルタントがスムーズで充実しているため、精神科研修に集中しやすい。また、麻酔科医もいるため、m-ECTも容易に施行可能である。

近年は、精神保健指定医、精神科専門医、認知症専門医、老年精神医学専門医など、各認定・専門医を輩出している。

各医師主体の臨床研究や、治験も行われており、学会発表も盛んで、リサーチ・マインド育成を目指した指導が可能である。

#### <認定施設>

日本老年精神医学会認定専門医研修施設

#### 【研修内容】

##### (1) 研修の概略

指導医のもと一精神科医師として、外来・病棟など様々な場所で、主治医や担当医となり、精神科患者の診断・治療などの医療的関わり、アウトリーチ支援や社会資源活用のなどの方法と実地を患者やその家族とともに学び、精神科病院とその部門間ネットワークにおいて、多職種連携で求められるチーム感覚の養成を行い、これからの真の専門医として求められる総合的能力を獲得する。

- ・研修時間は、原則、月曜日～金曜日(午前9時～午後5時)、及び、当直
- ・日本精神神経学会専門医制指導医、精神保健指定医、上級医師による講義
- ・外来診療
- ・病棟診療
- ・在宅診療
- ・当直、救急当番日の副直
- ・指導医の査読・指導のもと、専門医レポート作成、精神保健指定医レポート作成、希望者は学会などの発表原稿作成

## ⑫医療法人盟侑会 島松病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：小野澤淳
- ・指導責任者氏名：小野澤淳
- ・精神科病床数：( 172) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	127	68
F1	1	3
F2	11	27
F3	51	27
F4 F50	139	10
F4 F7 F8 F9 F50	173	18
F6	0	0
その他	56	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

当院は札幌近郊にある精神科単科病院で、地域に貢献できる医療を行っています。ベッド数は療養病床 172 床で、その内 60 床は介護保険適応の老人性認知症疾患療養病棟として稼働しています。また、敷地内に老人保健施設（100 床）を併設しております。

精神科単科病院は、ともすれば地域で孤立しがちな傾向がありますが、当院では、地元地域の病院や施設とも連携を密に行い、患者さんに、できる限り医療サービスを提供できるように心がけています。

また、なるべく広範囲をカバーするように努めております。平成 22 年度から、栗山赤十字病院に週 2 回、長沼町立病院に週 2 名の医師を派遣しており、外来診療を行っています。

当院に在籍する医師ですが、精神科医 5 名（日本精神神経学会専門医・指導医：4 名、精神保健指定医：5 名、産業医：1 名）であり、老人保健施設には内科専門

医1名がおります。

症例は、認知症、気分障害、統合失調症、神経症など多義にわたっております。近年の傾向として高齢者が増えており、身体的なアプローチが必要な方が急増しています。必要に応じて、老人保健施設の内科医とディスカッションを行います。そして、さらに専門的な身体管理が必要な場合は、近隣の総合病院に入院加療をお願いしております。また、精神科のない総合病院や一般の内科病院で精神科の治療が行えない場合は、往診や入院で対応するようしております。

#### 【研修の内容】

研修時間ですが、原則、月曜日～金曜日（午前9時～午後5時）として、日当直も適宜（月2～3回くらい）行っていただきます。

指導医のもとで外来診察、入院加療を行っていきます。

#### 〈外来〉

- ・外来では、予診をとり、その後に診察に陪席し、一人の患者さんに対して、できるだけ長く、多角的な視点で接していけるように心がけています。
- ・外来でのデイケア会議が定期的開催されており、参加していただきます。複数のスタッフの意見を聞くことで、少しでも視野を広げるようにしています。
- ・訪問看護も行っているため、時間に余裕があれば参加していただきます。

#### 〈入院〉

- ・入院加療では、担当医として数人の患者さんを受け持っていただきます。面談を中心としていますが、薬物治療の基礎、作業療法への参加により、精神科医療全般を学べるように配慮しています。
- ・担当者会議が定期的開催されております。主として、認知症の家族に対して、現状の報告と、治療方針を伝達していますが、家族の視点に立つことも重要と考え、参加していただきます。

#### 〈その他〉

院内研修会を定期的開催しており、参加していただきます。医師の講義だけでなく、感染防止対策や行動制限に関するもの、倫理など多義にわたっています。

⑬医療法人資生会 千歳病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：芦澤 健
- ・指導責任者氏名：芦澤 健
- ・精神科病床数：(168) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	29	33
F1	84	51
F2	378	107
F3	788	126
F4 F50	514	51
F4 F7 F8 F9 F50	6	1
F6	8	4
その他	29	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

当院は、認知症疾患医療センター、老健施設を併設し、札幌近郊の認知症の専門施設として地域のニーズに答えている。認知症専門外来（もの忘れ外来）があり、認知症の診断、治療、リハビリを行っている。CT、MRIによる画像診断、他院との連携でDAT スキャン、SPECT 等を行い、専門性を兼ね備えている。また当院スタッフによる無料の認知症出前講座を行い、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、高齢者サービス事業など地域と密着した連携、支援している。

アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症、アディクション治療のできる病院として実績がある。特に薬物依存はカルテベースで月 34 人と全国でもトップクラスである。集団精神療法、心理教育、認知行動療法、SMARPP（スマープ）等の治療プログラムを行っている。マック、サマリヤ館、ダルク、リカバリーハウスそれいゆ



等の道内全ての依存症・アディクション施設との関係が深い。断酒会、AA、GA、NA等の自助グループ、精神保健福祉センター、保健所、保健福祉行政、保護観察所、少年院等と連携して依存症治療を行っている。

森田療法を行っている施設である。日本森田療法学会認定医、同学会会員の医療スタッフが森田療法的アプローチを日常診療、不安グループ、リワークデイケアで行っている。特に社交不安障害については、LSAS-Jによるスクリーニング、薬物療法、認知行動療法、森田療法、集団療法、森田療法の自助グループ「生活の発見会」との連携を行っている。

精神科一般臨床では、不安障害、パーソナリティ障害、うつ病、双極性障害、統合失調症だけでなく、ASD、ADHD等の成人の発達障害にも対応している。問診、診察、AQ-JやCAARS等の心理検査を行い、薬物療法、精神療法、発達グループでの治療を行っている。また、てんかんを診る精神科施設が少なくなっているが、脳波によるてんかんの診断治療も行っている。てんかん専門医にセカンドオピニオンを求めることもある。

精神科リハビリに関しては、デイケア、リワークデイケアがあり、統合失調症を中心に訪問看護を行い、自立訓練施設、就労支援事業と連携している。浦河べてるの家発祥の「当事者研究」も集団精神療法として導入し、院外の当事者研究グループを支援している。

園芸活動は作業療法として園芸療法士中心に行われ、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団主催の花いっぱいコンクール花壇部門最優秀賞受賞している。

以上の臨床を基にした研修を体験できる

### 【研修の内容】

指導医の外来、入院患者診察治療の陪診および一緒に担当医となり、精神科臨床の見聞を広める。この中には指導医がどのように地域、行政、他院、自助グループとの連携、家族面談をするか、どのような薬物療法を行い、インフォームドコンセントするか等についても含まれる。精神保健指医、専門医の診るべき症例を経験し、レポート作成をサポートする。措置入院症例を含め、全ての症例を経験できる。老人や依存症が多いので身体合併症への対応について学ぶことができる。

精神療法として支持療法、心理教育、認知行動療法、森田療法、依存症・アディクションへのアプローチ等を学ぶことができる。また様々なグループ療法、作業療法、デイケア、リワークデイケア、自助部グループ、社会的資源の見学、参加ができ、心理社会的療法を広く学ぶことができる。

精神薬理を重視した薬物療法について研修できる。

その他、医療倫理、医療安全について学ぶことができる。

⑭特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：吉田 拓
- ・指導責任者氏名：吉田 拓
- ・精神科病床数：( 206 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	714	116
F1	46	8
F2	360	92
F3	483	96
F4 F50	183	20
F4 F7 F8 F9 F50	2,073	74
F6	7	6
その他	37	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

当院には、日本精神神経学会専門医指導医が4名在籍しております。統合失調症や感情障害はもちろんのこと、認知症、児童思春期症例なども豊富で、様々な症例が経験可能です。精神科医療では、多職種による多面的な支援が必須ですが、以下に示しますような資格を有した職員が在籍しております。また、作業所、ケアホーム、宿泊型自立訓練施設などの福祉施設を有する他、児童デイサービス、放課後等デイサービス、発達支援センターなど児童福祉事業も充実しており、精神科医療に関わる様々な職種の業務を理解できます。

- ・感情障害や不安症、統合失調症など、主要な精神疾患に関する診断や治療など、基礎的な知識を身につけることができます。修正型電気けいれん療法（m-ECT）、

治療抵抗性統合失調症へのクロザピン治療などの専門性の高い治療も行っています。

- ・ 認知症診断に関して経験豊富な医師が多く、頭部 MRI の読影、認知機能検査の基本、周辺症状への薬物療法や生活支援の方策など多岐にわたる知識を習得可能です。また、認知症病棟を有しており、認知症の周辺症状への対応方法などが学べます。認知症地域連携室を運営しており、認知症に関する地域連携に力を入れています。
- ・ 児童精神専門外来があり、幼児期から思春期まで、幅広い年齢の症例を経験可能です。発達障害をはじめ、不登校、感情障害、神経症圏など、多くの疾患を経験できます。自閉症児のための超早期療育 (Early Start Denver Model: ESDM) や親子相互交流療法 (Parent Child Interaction Therapy: PCIT) などの専門的療育・治療も積極的に行っております。精神科救急入院病棟で、児童思春期症例の入院治療も行っており、子どもの入院症例も経験できます。リハビリテーション科では、未就学児を対象に、作業療法 (感覚統合訓練)、言語訓練など、発達障害児への訓練を行っております。関連施設として、児童デイサービス (児童発達支援事業)、放課後等デイサービス、発達支援センターがあり、医療と福祉の連携について学ぶことができます。
- ・ 本鑑定、簡易鑑定など、精神鑑定を積極的に受け入れており、司法精神医学について学ぶことができます。
- ・ 札幌医科大学附属病院連携施設 精神科専門医研修プログラムの連携病院の中で唯一精神科救急病棟 (スーパー救急病棟) を運用しており、精神科救急の基礎を習得できます。措置入院、緊急措置入院、応急入院を受け入れる指定病床を有しています。
- ・ 措置入院症例をはじめとして精神保健指定医取得のために必要な症例を経験できます。平均入院数 186.6 名/日、平均外来数 148.3 名/日 (いずれも 2019 年 1~12 月) で、特定の疾患に偏らずに多くの症例を経験できます。
- ・ ときわ病院相談室での精神保健福祉士 (PSW) による相談業務、認知症地域連携相談室への他医療機関、高齢者施設や地域住民からの相談への対応、当法人が運営する相談支援事業所での子どもから成人までの様々な相談業務を見学する事で、地域連携・多職種連携についての基礎知識を身につけられます。
- ・ 訪問看護に同行する事で、精神障害を有する方の地域生活の現状を理解し、地域精神医学の基本的事項を学ぶことができます。
- ・ 構造化面接や各種評価スケールを使用し、標準化された症状評価が求められる治験を体験することができます。
- ・ 基礎および臨床研究の経験がある医師により、リサーチ・マインドの育成を目指した指導が可能です。
- ・ 博士課程を修了した医師が複数おり、学会発表および論文執筆の支援が可能です。当院は、これまでに、複数の国際共同研究に協力した実績があり、臨床

での疑問や着想をテーマにした研究の計画・実行を支援可能です。

**【研修内容】**

- ・ 日本精神神経学会専門医制度指導医、精神保健指定医、各種学会認定医、あるいは上級医師による講義や指導
- ・ 新患患者の予診聴取
- ・ 指導医のバックアップのもと当直業務（午後 5 時から午前 9 時まで）および土日祝日の日直業務（午前 9 時から午後 5 時まで）
- ・ 外来患者および病棟患者への対応（指導医の指導のもと主治医として対応）
- ・ 心理検査の陪席、心理検査結果の解釈についての講義
- ・ 集団精神療法や個別カウンセリングなどの精神療法の陪席
- ・ 訪問看護への同行
- ・ デイケア（精神科および重度認知症）への参加
- ・ ケアホーム、自立訓練施設、共同住居の見学
- ・ 病棟・外来作業療法への参加
- ・ 児童福祉施設での実習
- ・ 各種相談業務の見学
- ・ 院内研修会、勉強会への参加
- ・ 文献検索、論文執筆、症例報告作成、学会発表原稿の作成
- ・ 精神保健指定医レポートの作成

⑮医療法人社団心優会 中江病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：小林 清樹
- ・指導責任者氏名：小林 清樹
- ・精神科病床数：( 280 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	26 人	10 人
F1	5 人	3 人
F2	53 人	23 人
F3	68 人	31 人
F4 F50	28 人	2 人
F4 F7 F8 F9 F50	0 人	0 人
F6	15 人	1 人
その他	2 人	0 人

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

わが国の精神科病床のほとんどが民間精神科病院であるという現実  
 即し、地域社会に根ざした臨床実践的な内容のプログラムを目指している。  
 70年の歴史を持つ機関施設である当院では、急性期を扱う病床が1つ、認知症治  
 療病棟が1つ、慢性期患者にも対応した療養病棟を3つ有する。統合失調症、気分  
 障害を中心に、あらゆる疾患に対応した研修が可能である。また、老年精神医学  
 会の認定専門医・指導医もおり、認知症診療にも力を入れている。例えば、専門  
 外来を設立し、入院が必要な行動心理症状（BPSD）を有する認知症疾患の症例に  
 つき、院内の多職種、地域の保健師、地域包括支援センター、介護保険のケアマ  
 ネジャー、サービス提供事業者等と連携しながら、幅広く認知症専門医療福祉を  
 研修することが可能である。また医療観察法における通院指定病院としても対応  
 している。クロザリル処方や電気けいれん療法、光トポグラフィ検査など、難治性精神

疾患への対応や、先進医療の実践も行っている。また、常勤内科医が在籍し、合併症患者の治療についても勉強できる。

## 【研修の内容】

### ① 精神科医療の基本を修得

統合失調症および気分障害をはじめとするさまざまな精神疾患の急性期の危機介入から社会復帰まで、医療と福祉の基本と実際を修得する。

### ② 精神科救急医療の経験

急性期の研修および指導医の下で行う当直業務に携わることで精神科救急医療の経験を積む。指定医や専門医のケースレポートの対象となります。

### ③ 精神科リハビリテーション，デイケアの経験

精神科デイケアで SST (social skill training) ， 疾病教育および就労支援などの臨床経験を積む。

### ④ 地域精神科医療の経験

精神科リハビリテーション，精神科訪問診療を実際に行い，訪問看護などとも連携して，地域生活中心の精神科医療の経験を積む。

### ⑤ 認知症など脳器質性精神障害の神経心理学的検討の経験

認知症など脳器質性精神障害について，脳画像診断の読影の仕方を学ぶ。当院には、Neuroimaging の臨床研究もしている医師がおり、エキスパートによる指導が可能である。実施されている臨床研究に研究協力者として参加することも可能である。

### ⑥ 認知症医療における包括的研修

認知症の外来診療，認知症疾患専門病棟における入院治療，ケアマネージャー，介護施設との連携などを経験し，認知症医療を包括的に修得する。

### ⑦ 科学的な研究成果について理解し、リサーチマインドの涵養

全体として症例数が豊富であり、症状や所見を合理的に分析して診断を進め、エビデンスに基づいて治療方針を考えることができるようにする。科学的な研究成果の意義を吟味し取り入れながら、リサーチマインドを育むことができる。学会発表や論文執筆を現在も継続している医師もおり、アカデミックなことに興味がある若手には手厚い指導も可能である。

⑧ 難治性精神疾患治療の研修難治性精神疾患治療（クロザピン・電気けいれん療法）を経験することができる。

## ⑩医療法人社団積信会長野病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：石垣 博美
- ・指導責任者氏名：石垣 博美
- ・精神科病床数：( 320 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	371	118
F1	101	32
F2	766	244
F3	261	83
F4 F50	16	5
F4 F7 F8 F9 F50	68	28
F6	25	8
その他	19	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

精神科急性期治療病棟・精神一般病棟・精神療養病棟・認知症治療病棟を有する単科精神科病院であり、地域に根ざした中核的病院である。入院症例は、統合失調症、気分障害、認知症、アルコール・薬物依存など精神科医として診療経験すべき疾患についてカバーしている。精神科における一般的な疾患についての知識や基本的技能と法的な知識を学ぶことができます。カウンセリングの導入など心理職との連携や、SST・作業療法・デイケアなどの作業療法スタッフとの連携を通して、心理社会療法、精神科リハビリテーションの実際を経験する。また、訪問看護などのアウトリーチを経験し、地域の中でケースを支える重要性を修得する。とりわけ、退院先の設定等のケースワーキングは積極的に行っており、また



患者さんの権利擁護のため、定期的に無料法律相談会を開催するなど「人権派」弁護士との連携も重要視している。

#### 【研修の内容】

##### ①外来診療

研修医の技量や経験により、指導医の外来付き、新患の予診、再来患者中心の外来担当などを行う。

##### ②入院治療

指導医の指導のもと、25～30例の入院患者を担当し、治療計画の作成ならびに薬物身体療法、精神療法の実際を経験する。

##### ③心理社会的療法、精神科リハビリテーション

カウンセリングの導入など心理職との連携、作業療法スタッフとの連携を通して、心理社会療法、精神科リハビリの実際を経験する。

##### ④地域精神医療

精神保健福祉士と共に、地域における作業所やグループホームなどの社会資源を利用し、入院患者の退院、あるいは長期入院患者の退院促進を進める。

##### ⑤講義への出席

総論、医の倫理、精神科診断学、精神療法、薬物・身体療法、精神科リハビリテーションなどのクルスズを実施する。

##### ⑥精神科救急

指導医と共に精神科救急（当直）を経験する。

##### ⑦学会、研修会への参加

年2回以上、学会、研修会への参加を義務付ける。

##### ⑧地域医療連携（合併症等の対応、他院との連携）

他院より、せん妄などの精神科治療が必要なケースの受入をはかり、専門的な医療を提供する。

##### ⑨法と精神医学

指導医と共に措置鑑定などの実際を見学。また、成年後見制度の利用なども学習する。

⑰医療法人博友会 平岸病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：郡 正博
- ・指導責任者氏名：青柳 雅宏
- ・精神科病床数：( 324 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	28	114
F1	32	33
F2	191	249
F3	256	106
F4 F50	171	68
F4 F7 F8 F9 F50	2	2
F6	12	12
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

- ① 精神科病院として、高精度の画像診断機器を積極的に導入しています。

64列ヘリカルCT	1.5テスラMRI
東芝メディカル製。緊急時の頭部撮影の他、肺尖部から骨盤腔までを一回の撮像で完了可能。また、待機的に心臓冠動脈造影も行っております。	脳梗塞急性期の撮像から、AD・VDなど器質性疾患、神経変性疾患の診断に威力を発揮。また、地域の身体科病院からの依頼により、運動器や肝・胆道系を含む種々の撮影を応需しております。

ほか、超音波検査機器：2台（据え置き型&ポータブル）、ECT装置、上部・下部消化管内視鏡設備あり。院内に臨床検査室を有し、一般的な血算・生化学検査、

動脈血ガス分析等は即日のうちに結果を得ることが可能です。麻酔科標榜医が常勤しており、電気けいれん療法(ECT)が施行可能、またX線透視設備により、身体的に重篤な患者さまに対してのガイドワイヤーを用いた中心静脈路確保も安全に施行可能です。

CT・MRIに関しては、平日緊急撮影に対応し、認知機能障害その他、器質性障害疑い例の初診患者さんに対しても、原則同日中の撮像を可能としております。

② 人口約 11,000 人(平成 27 年末)の赤平市にあって、へき地医療の一翼を担う医療施設として、充実した地域医療研修を経験可能です。とくに、近隣の市立病院は精神科病床を有していないため、身体疾患・精神科疾患の合併症例を、当院の入院症例として診療することができます。

③ 措置指定病床あり、精神保健指定医取得、また日本精神神経学会専門医のための必須症例である非自発的入院例、地域医療症例等をほとんど経験できる体制が整っています。

④ 週一回金曜日、滝川メンタルクリニック（滝川市）での陪席あり。入院診療、精神科病院としての外来場面のみでなく、無床診療所での精神療法を主体とした外来診療を経験出来ます。特に病院外来では、どちらかという長い病歴の患者さんが多くなりがちですが、診療所の外来では思春期を含む若年層、神経症圏、また新患外来が数多く経験できます。

⑤ 滝川メンタルクリニックとのテレビ会議システムを利用したカンファレンスも実施可。

#### 【研修の内容】

当院での研修の力点

- (1) 外来診療、病棟診療のそれぞれの場面において、主治医として関与すること
- (2) 精神保健福祉法上の措置症例に関しては、措置診察の場面に立ち会い、また症例に応じ入院時からの主治医として診療を行うこと
- (3) 措置入院・医療保護入院等の非自発的入院例を主治医として担当するにあたり、各種法律・指針およびそのもととなっている考え方について、指導医とディスカッションし、理解を深める
- (4) 精神医学の基本となっている考えかたについて確認するため、日本精神神経学会専門医制度指導医、精神保健指定医による小講義を開催する。(場合により、外部からの指導医を招聘)

- (5) 科学的・理論的根拠に基づいた薬物療法の選択
- (6) 精神科領域のみならず、医師として総合的に患者さんを診察する能力を育成する
- (7) 画像診断機器を積極的に活用し、器質性疾患・合併症の理解を深める

⑱医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック

- ・施設形態：民間単科精神科診療所
- ・院長名：長谷川 直実 （理事長 山田 秀世）
- ・指導責任者氏名：長谷川 直実
- ・精神科病床数：（ 0 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	32	0
F1	134	0
F2	251	0
F3	501	0
F4 F50	183	0
F4 F7 F8 F9 F50	110	0
F6	62	0
その他	35	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

一般精神科デイケアでは、SST、疾患別プログラム、アンガーマネジメント、アクション学習会等が体験できる。リワークデイケアでは、森田療法プログラム、CBTプログラム等が体験できる。統合失調症、気分障害、発達障害、物質使用障害と、幅広い臨床を外来精神医療として学ぶことができる。

【研修の内容】

- 1) 日本精神神経学会専門医制度指導医（2名）、精神保健指定医（3名）、日本医師会認定産業医（2名）により、講義やデイケア、外来診療の場面などを通して指導を行っていく。
- 2) 当院デイケアは、復職支援を中心としたリワークデイケアと一般デイケアの双方を行っており、対象疾患も、気分障害や神経症性障害、統合失調症、ア

アルコール依存や薬物依存、心理的発達障害など様々なケースを対象としている。それぞれの疾患に対応して、心理療法を取り入れた治療プログラムを行っている。デイケア業務での研修は、まず上級医師や公認心理師などが行うプログラムの見学や補助的役割を担当してもらいながら指導を行い、3～6ヶ月後から、徐々にユーザーに対しての心理療法プログラムの講師を担当できるように指導していく。様々な精神療法を学ぶことで、精神科医として必要な精神療法の基礎を習得できる。

- 3) 心理療法は、公認心理師等による認知行動療法（あるいはデイケアにおける集団認知行動療法プログラム）を見学し、上級医師や公認心理師からの説明を行い、学ぶ機会を与える。また、心理検査への陪席を通して各種検査法への理解を深める。
- 4) 講義を行い、精神医学の総論と基礎知識、面接法の基礎（動機づけ面接等）、操作的診断基準と伝統的診断、心理療法（認知行動療法や森田療法など）、薬物療法などについて当院の三名の医師（山田、長谷川、土岐）が分担して行っていく。
- 5) 外勤は、当院長谷川医師が帯広刑務所にてプログラムを行っており、これに同席して、司法精神医学や、覚醒剤、アルコール依存治療に対する理解を深めるように指導する。
- 6) 当院では訪問看護を行っており、外勤の機会を使って、グループホームなどへの訪問に同行し、患者の生活の場を視野に入れた治療の必要性について学ぶ。
- 7) 学会発表などの機会を与え、論理的発表の方法等について指導する。

⑱特定医療法人北仁会 幹メンタルクリニック

- ・施設形態：民間診療所
- ・院長名：池田 官司
- ・指導責任者氏名：池田 官司
- ・精神科病床数：( 0 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	162	0
F1	268	0
F2	82	0
F3	486	0
F4 F50	159	0
F4 F7 F8 F9 F50	182	0
F6	45	0
その他	20	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

【研修の特色】

- ・ 当院にはうつ病、神経症、依存症（アルコール依存症、薬物依存症、病的賭博等）の患者が多い。また、産業メンタルヘルスに関連する患者が多い。
- ・ 上記の特徴を生かし、基幹病院で研修中の専攻医が週1～2回、3～6か月当院で研修することによって依存症の診断・治療を学びさらに、その陰に存在するうつ病、不安障害等の併存症の対処についても学ぶ。さらにうつ病、不安障害が潜在的なアルコール使用障害によって遷延化、難治化している症例についての診断治療についても学ぶ。
- ・ 当院の患者を対象にした臨床論文の書き方（統計処理を含む）について学ぶ。

## ②杏林大学医学部付属病院

- ・施設形態：私立大学付属病院
- ・院長名：市村 正一
- ・プログラム統括責任者氏名：渡邊 衡一郎
- ・指導責任者氏名：渡邊 衡一郎
- ・指導医人数：（ 7 ）人
- ・精神科病床数：（ 32 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	182	20
F1	53	10
F2	850	67
F3	1331	141
F4 F50	644	60
F4 F7 F8 F9 F50	20	12
F6	89	30
その他	312	20

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

1153床（令和3年3月現在）を有する大学病院であり、精神神経科としての開放病棟を32床（睡眠専門病床2床を含む）有している。重症度は軽症から重症まで幅広い患者が外来や入院で治療を受けており、気分障害や統合失調症の割合が多い。他にも睡眠障害や器質症状性精神障害、摂食障害、身体合併症（周産期を含む）の患者、そして思春期の患者など多様な精神疾患の患者が受診しており、他科との連携も図りながら治療に当たっている。院内でのリエゾン・コンサルテーションや緩和ケア医療への参画も積極的に行っており、加えて地域のクリニックや病院からの依頼を定期的に受けている。また、修正型電気けいれん療法やクロザピン治療を実施し、難治性の気分障害患者に対する包括的アプローチも行っている。さらに専門



医療においては、日本睡眠学会および日本臨床精神神経薬理学会、日本総合病院精神医学会の認定研修施設であり、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究：Effectiveness of GUIDeline for Dissemination and Education in psychiatric treatment (EGUIDE) のうつ病事務局も務めている。また精神療法にも力を入れており、認知行動療法や対人関係療法においてはそれぞれの専門家が所属しているため、定期的な指導や講義を行っている。精神科作業療法としては、入院患者だけでなく外来患者に対しても多角的な評価と介入を行い、当事者のパーソナルリカバリーへの援助を目指している。

## ②福岡大学病院

- ・施設形態：私立大学病院
- ・院長名：岩崎 昭憲
- ・プログラム統括責任者氏名：川寄 弘詔
- ・指導責任者氏名：川寄 弘詔
- ・指導医数：（ 7 ）人
- ・精神科病床数：（ 60 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	153	18
F1	7	9
F2	77	48
F3	103	53
F4 F50	216	56
F4 F7 F8 F9 F50	52	41
F6	39	1
その他	149	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

福岡大学病院は915床（うち精神科60床）を有する特定機能病院であり、「あたたかい医療」という基本理念を掲げ、救命救急センターでの3次救急の受け入れや地域のがん診療連携拠点病院としてがん診療など、地域の中核病院として社会のニーズに応えるよう医療活動を行っている。

当教室は伝統的に精神分析的な精神療法などの精神療法を学ぶ環境が充実しており、地域精神医療に根ざした患者中心の臨床精神医療を徹底している。また大学病院における精神神経科の役割を果たすために、身体合併症患者のリエゾンコンサルテーション、緩和ケアチームや認知症疾患医療センターへの参画、救

命救急センターと協力した自殺企図者への介入、産婦人科や小児科と協同した周産期母子、小児や児童思春期（虐待児とその家族、発達障害、ADHD など）への対応といった幅広い治療活動も行っている。

#### 【研修の内容】

福岡大学病院では生物 - 心理 - 社会的な幅広い知識とバランスの取れた技能や態度を獲得し、精神科専門医の資格を取得することを目標とする。

専攻医は病棟医として入院患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画の策定、他科と協力関係の作り方などを、指導医から教育を受ける。病棟ではチーム制での診療を行っており、配属されたチーム内で複数の指導医よりアドバイスを受けることが可能である。また当施設のデイケアは全国で初めて認可された大学病院デイケアであり、コメディカルスタッフも多く、多職種でのチーム医療を実践している。デイケアでは統合失調症や発達障害などを中心とした社会復帰プログラムを行っている。週に1回はデイケアプログラムにも参加し、退院後の経過といった継続的な医療について学ぶ機会も設けている。精神療法に関する研修、スーパービジョン（症例の治療に関する指導）なども希望者は受けられる。

当施設では大学という研究機関でもあるため、研究や学会発表についても指導を受けることが可能であり、病棟での上級医のほかに、臨床以外でも相談ができる病棟上級医以外の担当者をそれぞれの専攻医に配置している。（コンサルテーションシステム）学会等での発表や雑誌への投稿も定期的に行っており、その指導をコンサルテーションで受ける。希望者は大学院への進学も可能である。各々の興味のある臨床分野や研究分野があれば、より重点的にその領域に関わることが出来る。

## ②九州大学病院

- ・施設形態：大学病院
- ・院長名：赤司 浩一
- ・指導責任者氏名：中尾 智博
- ・指導医人数：( 10 ) 人
- ・精神科病床数：( 65 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	165	11
F1	19	3
F2	321	83
F3	647	83
F4 F50	648	48
F4 F7 F8 F9 F50	1079	61
F6	4	1
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

### 【研修の特色】

当院は 1275 床を有する大規模な病院であり、精神科も 65 床という大学病院としては最大規模の病棟を有している。高度専門医療機関として、主に難治性の症 例を中心に統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）などの治療にあたっている。また思春期症例、認知症、身体合併症治療、リエゾン・コンサルテーションなど精神科臨床を幅広く経験できることも特徴である。精神療法の習得にも力を注いでおり、認知行動療法、精神分析・精神力動、森田療法のカンファレンス、セミナーを定期的で開催している。

### ②医療法人風のすずらん会 江別すずらん病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：安田 素次
- ・指導責任者氏名：安田 素次
- ・精神科病床数：( 234 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	301	206
F1	17	39
F2	56	107
F3	236	108
F4 F50	231	22
F4 F7 F8 F9 F50	288	27
F6	14	6
その他	199	41

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

#### 【研修の特色】

精神科急性期治療病棟、精神科一般病棟、精神科療養病棟、認知症疾患治療病棟を有し、統合失調症、感情障害等の精神疾患や神経症圏のみならず、広範で種々の年齢層の症例を経験することが出来る。

とりわけ認知症については認知症疾患医療センターに指定され、認知症デイケアも実施しており、日本認知症学会専門医、日本老年精神医学会専門医のもとに常勤の神経内科医と連携して包括的医療を行っている。

また中高生を対象とした思春期専門外来も開設しており、日本小児精神神経学会専門医・外来看護師・公認心理師がチームで症例を担当している。ひきこもり青少年を対象にした集団プログラムおよび江別という郊外型地域特性を生かした「ワカサギ釣り」等のアウトドア中心のデイケアも試行中である。

慢性期疾患患者の社会復帰にも注力しており、精神科デイケア、精神科訪問看護での支援に加え、2019年より障がい者グループホームを開設し、長期入院患者

の退院支援や実家での生活が困難な患者の社会復帰でも実績を積み上げており、現在2軒目の開設を準備している。

さらに、応急措置・医療観察法（通院）・依存症専門医療機関（アルコール）などの各種指定、昨今需要の増えているリワーク専門外来の開設などにより、幅広い疾患群の症例を経験することができる。

#### 【研修の内容】

研修期間の勤務：原則平日（月～金） 午前9時～午後5時30分

- 外来診療（もの忘れ外来、児童思春期外来、リワーク外来含む）
- 入院診療：指導医と共に患者さんを担当していただきます。
- 学会・研修会への出席
- 九州大学精神神経科 中尾智博 教授による最新知見のレクチャー（隔月）
- 症例検討会（毎月）
- 江別市精神科懇話会（隔月）
- 障がい者支援施設（重度知的障害、自閉症、てんかん） 往診同行

## ②九州医療センター

- ・施設形態：総合病院
- ・院長名：村中 光
- ・指導責任者氏名：石川 謙介
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 50 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	700	70
F1	60	25
F2	500	120
F3	800	70
F4 F50	60	3
F4 F7 F8 F9 F50	1180	42
F6	120	3
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 702 床の総合病院であり、身体合併症を有する精神疾患を中心に症例経験が可能である。50 床の精神科病棟（開放 20 床、閉鎖 30 床）において身体合併症治療に加え、うつ病、認知症、思春期症例など多様な精神疾患の入院治療を実践するプログラムとなっている。

②⑤国立病院機構 小倉医療センター

- ・施設形態：総合病院
- ・院長名：澄井 俊彦
- ・指導責任者氏名：磯村 周一
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(50) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	348	42
F1	40	36
F2	208	84
F3	284	100
F4 F50	220	20
F4 F7 F8 F9 F50	17	3
F6	66	7
その他	50	10

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、400床、18診療科を有する総合病院であり、リエゾン・コンサルテーション症例も豊富に経験することが可能である。緩和ケアチームに参加し、精神腫瘍学について臨床経験を踏まえて学習することもできる。

50床の精神科病棟を有しており、政策医療としての身体合併症治療に加え、思春期症例を含む多様な精神疾患の入院治療も経験できる。修正電気けいれん療法も積極的にやっている。

当院は北九州市ものわすれ外来事業協力医療機関であり、認知症の診断、治療、マネジメントについても実践的な経験を積むことが可能である。



②⑥福岡県立精神医療センター太宰府病院

- ・施設形態：県立病院
- ・院長名：小嶋 享二
- ・指導責任者氏名：重松 淳哉
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 300 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	134	37
F1	263	78
F2	768	299
F3	710	212
F4 F50	317	70
F4 F7 F8 F9 F50	137	47
F6	20	12
その他(G40)	81	4

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

救急・急性期の治療に力を入れており、24時間・365日体制で臨んでいる。クロザピンの処方やmECTも実施しており、早期の退院・社会復帰を目指している。依存症（アルコール・薬物）の治療も行っており、多くの多様な患者が受診してきて豊富な経験を積むことができる。

### 3. 研修プログラム

#### 1) 年次到達目標

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳にしたがって専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。1. 患者及び家族との面接、2. 疾患概念の病態の理解、3. 診断と治療計画、4. 補助検査法、5. 薬物・身体療法、6. 精神療法、7. 心理社会的療法など、8. 精神科救急、9. リエゾン・コンサルテーション精神医学、10. 法と精神医学、11. 災害精神医学、12. 医の倫理、13. 安全管理。年次ごとの到達目標は以下の通りである。

#### 到達目標

1年目：主に基幹病院で、指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者等を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。また、リエゾン・コンサルテーション精神医学について学び、実際の症例を経験する。特に面接によって情報を抽出し診断に結びつけることとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。面接や精神療法の習得をめざし、基幹病院で行う教育セミナー（患者診察のロールプレイや精神療法の講義等）に参加する。院内研究会や学会で発表し、討論に参加する。

2年目：基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつ、自立的に、面接の実戦経験と学習を深め、診断や能力見立ての能力を向上させること、そしてより高い水準で治療計画を考案できることを目標とする。特に、各精神疾患の特異性に配慮したより個別性の高い診断・見立て、治療計画立案ができるように努める。薬物療法については、まず自身で理論的に治療計画を立てることができるようにする。また、力動的精神療法の概念を学び、心理教育、認知行動療法、そして集団療法などの技法を身につける。神経症性障害および種々の依存症患者の診断・治療を経験する。一般救急と精神科病棟における精神科救急事案に対応し、その対応法について学ぶとともに、また、院内研究会や学会で発表し、さまざまな症例検討の機会に積極的に討議に参加する。

3年目：より自立的に判断し行動するかたちで診療のトレーニングを進める。患者の多面性の観点から行う心理社会的アプローチ、精神科リハビリテーション、地域精神保健等を実践的に学ぶ。児童・思春期精神障害や物質依存症の診断・見立て・治療を経験する。他に、院内研究会や学会で発表を行ったり、さまざまな症例検討の機会にその討議にも引き続き参加する。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択し、希望者には、将来のサブ・スペシャリティの獲得をも念頭においた指導を行う。

#### 2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）を参照。

### 3) 個別項目について

#### ① 倫理性・社会性

基幹施設において他科の専攻医とともに研修機会が提供される。さまざまな臨床研修場面において、実践的に医療倫理について指導医から学ぶ。さらに、リエゾン・コンサルテーション活動などを通して他科との連携を持つことにより、医師としての、そして精神科医としての責任性や社会性、倫理観などについて学び、診療科を超えてさまざまな先輩医師や他の医療スタッフからも多くを学ぶところとなる。

#### ② 学問的姿勢

専攻医は、患者に最善の診療を行うために、常に医療・医学に関する最新の知見を鑑み診療にあたることが求められる。そのために、経験症例に関して、常に文献にあたり、またこれらの症例については、全例、症例検討会で発表し、指導医や他の医療スタッフによる指摘、指導により振り返りの学習を行い、診断・見立て・治療計画の再検討を行う。医療・医学の観点から重要な症例と思われるものについては、学会等での発表や学術誌への投稿を行い、積極的に医療・医学の発展に貢献する。さらに、自ら経験した症例については診療情報を収集、解析し、症例研究等を試みる。

#### ③ コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、1) 医師患者関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) 症例プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾン・コンサルテーションといった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

#### ④ 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

基幹施設において臨床研究、あるいは基礎研究に従事し、その成果について学会発表を行うか、あるいは和文・英文論文として発表する。

#### ⑤ 自己学習

自己学習は、生涯学習の観点から重要な方法である。例えば、研修医委員会が指定した研修用教材 DVD（「精神科医療の基本」など）を用いた自己学習ができる。

#### 4) ローテーションモデル

典型例としては、1年目に基幹病院（A：札幌医科大学附属病院）にて精神科医としての基本的な知識と診療技術を身につける。2～3年目には総合病院精神科、あるいは単科精神科病院を1～2年間ローテートし、各種精神疾患、身体合併症症例、難治、ないしは治療抵抗性症例、急性期症例、児童の症例、老年期の症例などを幅広く経験し、生物学的検査・心理検査などの検査法を学び、精神療法、薬物療法を中心に標準的な精神科治療手技、社会資源の活用を含む心理社会的治療アプローチを学び、また精神医療の根幹をなす精神保健福祉法を理解する。これら3年間のローテート順については、本人の希望に応じて柔軟な対応する。

#### 5) 研修の週間・年間計画

下記を参照。いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

#### 4. プログラム管理体制について

##### ・プログラム管理委員会

- 委員長 医師：河西 千秋
- 医師：橋本 恵理
- 医師：石井 貴男
- 医師：ドカティ さくら
- 医師：宮本 眞希守
- 医師：内海 久美子
- 医師：嶋田 進一郎
- 医師：古瀬 研吾
- 医師：白石 将毅
- 医師：白坂 知信
- 医師：大江 平
- 医師：西出 和正
- 医師：中島 公博
- 医師：山田 真吾
- 医師：小野澤 淳
- 医師：芦澤 健
- 医師：吉田 拓
- 医師：小林 清樹
- 医師：石垣 博美

- 医師：郡 正博
- 医師：長谷川 直実
- 医師：池田 官司
- 医師：渡邊 衡一郎
- 医師：川崎 弘詔
- 医師：中尾 智博
- 医師：安田 素次
- 医師：石川 謙介
- 医師：磯村 周一
- 医師：重松 淳哉
- 看護師：煤賀 隆宏
- 精神保健福祉士：岩木 敦子

- プログラム統括責任者

河西 千秋

- 連携施設における委員会組織

各連携病院の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される。

## 5. 評価について

### 1) 評価体制

札幌医科大学附属病院：河西 千秋

道立江差病院：ドカティ さくら

江別市立病院：宮本 眞希守

砂川市立病院：内海 久美子

北見赤十字病院：嶋田 進一郎

帯広厚生病院：古瀬 研吾

旭山病院：白石 将毅

石橋病院：白坂 知信

大江病院：大江 平

北の峰病院：西出和正

五稜会病院：中島 公博

札幌佐藤病院：山田 真吾

島松病院：小野澤 淳

千歳病院：芦澤 健

ときわ病院：吉田 拓

中江病院：小林 清樹

長野病院：石垣 博美

平岸病院：郡 正博  
大通公園メンタルクリニック：長谷川 直実  
幹メンタルクリニック：池田 官司  
杏林大学：渡邊 衡一郎  
福岡大学：川崎 弘詔  
九州大学病院：中尾 智博  
江別すずらん病院：安田 素次  
九州医療センター：石川 謙介  
小倉医療センター：磯村 周一  
太宰府病院：重松 淳哉  
札幌医科大学附属病院：煤賀 隆宏（専門看護師）  
札幌医科大学附属病院：岩木 敦子（精神保健福祉士）

## 2) 評価時期と評価方法

- ・ 3ヶ月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。
- ・ 研修目標の達成度を、当該研究施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ6ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。
- ・ 1年後に1年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。また、その結果を統括責任者に提出する。
- ・ その際の専攻医の研究実績および評価には、研修記録簿／システムを用いる。
- ・ 評価体制には精神科専門看護師、精神保健福祉士を加え、多職種による評価体制を整えている。

## 3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」（別紙）に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年1回行う。

札幌医科大学附属病院にて専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

プログラム運用マニュアルは、以下の専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

- 専攻医研修マニュアル（別紙）
- 指導医マニュアル（別紙）
- ・ 専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価を行い記録する。少なくとも年に1回は形成的評価により、指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的自己評価を行うこと。研修を修了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

・指導医による指導とフィードバックの記録

専攻医自身が自分の達成度評価を行い、指導医も形成的評価を行って記録する。少なくとも年1回は指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って各分野の形成的評価を行い、評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためのフィードバックを行って記録し、翌年度の研修に役立たせる。

## 6. 全体の管理運営体制

### 1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）

各施設の労務管理基準に準拠する。

### 2) 専攻医の心身の健康管理

各施設の健康管理基準に準拠する。

### 3) プログラムの改善・改良

基幹病院の総括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、専攻医の意見を反映させながら、継続的な改良を実施する。

### 4) FDの計画・実施

年1回、プログラム管理委員会が主導し、各施設における研修状況を評価する。

①札幌医科大学附属病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:45 - 12:00	緩和ケア回診 ／外来業務 リエゾン	m-ECT	外来業務 リエゾン	(緩和ケアカ ンファ) 連携病院 での研修	外来業務 リエゾン・救 急カンファ
13:00 - 17:15	病棟業務 病棟カンフ ア	病棟業務	全体カンフ ァ・症例検討	連携病院 での研修	病棟業務
17:30 - 19:30			セミナー ・抄読会・診療 会議		

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会 日本老年精神医学会
7月	北海道精神神経学会例会 日本うつ病学会
8月	夏期セミナー
9月	日本自殺予防学会
10月	北海道精神神経学会学術研修会，日本児童青年精神医学会
11月	(北海道精神神経学会例会での発表準備)
12月	北海道精神神経学会例会
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成 症例レポート作成・評価 日本統合失調症学会

大学近郊では，平日，週末に各種講演会等が多く開催されており参加可能です。



①北海道立江差病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-8:45	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
8:45-12:30	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	病棟業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	病棟業務 リエゾン
13:30- 14:00	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ
14:00- 17:30	外来業務 病棟業務	病棟業務 医長回診 講義	病棟業務 外勤	病棟業務 医長回診 講義 外勤	病棟業務
17:30- 18:00			医局会	勉強会	

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会参加
7月	
8月	教室夏期セミナー参加
9月	精神保健指定医研修会参加
10月	
11月	日本総合病院精神医学学会総会参加
12月	北海道精神神経学会例会参加・演題発表
1月	
2月	院内定例学習会演題発表
3月	総括評価

## ②江別市立病院

### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-8:40	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
8:40-12:00	外来業務 (初診)		外来業務・ リエゾン	外来業務 リエゾン	
13:30-16:00	リエゾン(初診) 病棟カフアレシ 病棟業務	病棟カフアレシ 病棟業務	外来業務 (指定患者)	医療相談(月1)  外来業務 (指定患者)	病棟カフアレシ 病棟業務
16:00-16:30		ケースカフアレシ	総回診	行動制限委員会 (月1回)	
16:30-17:00					
17:00-18:30				学習会(不定期)	

### 年間スケジュール

4月	オリエンテーション 江別市精神科懇話会参加
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	北海道精神神経学会参加 江別市精神科懇話会参加
8月	教室夏期セミナー
9月	
10月	江別市精神科懇話会参加
11月	
12月	北海道精神神経学会参加
1月	江別市精神科懇話会参加
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

### ③砂川市立病院

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30- 12:00	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
13:30-14:30	急性期病棟多職種 カンファ	高齢者病棟多職種 カンファ			
13:30-17:00	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
その他	医師カンファ 18:00～ リエゾンカンファ 12:30～ 13:30	第3火 精神科調整会議 16:00～ 17:00 行動抑制委員会 17:00～ 17:30		もの忘れ専門外来 13:30～ 17:00 もの忘れカンファ 18:00～ 20:00 第1木 リハビリカンファ 17:00～ 18:00	

#### 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会・日本老年精神医学会参加
7月	北海道精神神経学会演題発表
8月	教室夏期セミナー
9月	
10月	
11月	
12月	北海道精神神経学会演題発表
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

④北見赤十字病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	新患担当 予診 外来	新患担当 予診 外来	新患担当 予診 外来	新患担当 予診 外来	新患担当 予診 外来
午後	デイケア リエゾン 病棟 受持ち患者サ マリー作成 (~17:10)	加ソアル入 (13:45~15:00) デイケア リエゾン 病棟 受持ち患者サマ リー作成	デイケア リエゾン 病棟 受持ち患者サマ リー作成 *保健所相談	デイケア リエゾン 病棟 受持ち患者サマ リー作成 *児童相談所	デイケア リエゾン 病棟 受持ち患者サ マリー作成
夜間	待機	待機	待機	待機 アルコール例会 (19:00~)	待機

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	赤十字看護講義
6月	日本精神神経学会学術総会 日本赤十字社精神科懇話会参加 オホーツク精神医学会参加、二年目以降演題発表
7月	北海道精神神経学会参加 総合病院精神医学会有床フォーラム参加、二年目以降演題発表 札幌医科大学神経精神医学教室夏季セミナー参加
8月	教室夏期セミナー
9月	
10月	日本赤十字社医学会総会参加
11月	総合病院精神医学会参加
12月	北海道精神神経学会参加、演題発表
1月	
2月	
3月	研修プログラム総括的評価

⑤北海道厚生農業協同組合連合会 帯広厚生病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30～12:15	外来	外来	外来	外来	外来
13:15～15:00	リエゾン	リエゾン	リエゾン	リエゾン	リエゾン
15:00～17:00	病棟業務 病棟カンファ	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
17:00～18:00		症例検討会			

年間スケジュール

4月	大江病院との合同勉強会
5月	大江病院との合同勉強会
6月	日本精神神経学会総会 大江病院との合同勉強会
7月	精神神経学会地方会 大江病院との合同勉強会
8月	大江病院との合同勉強会, 教室夏期セミナー
9月	大江病院との合同勉強会
10月	日本農村医学会 大江病院との合同勉強会
11月	大江病院との合同勉強会
12月	精神神経学会地方会 大江病院との合同勉強会
1月	大江病院との合同勉強会
2月	大江病院との合同勉強会
3月	大江病院との合同勉強会, 研修プログラム評価報告書の作成

⑥旭山病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:00~9:30	病棟業務	症例検討	医局会議	病棟業務	病棟業務
9:30~12:30		病棟業務	デイケア等		外来診療(陪診)
13:30~16:00	クリニック外来 (病棟業務)	作業療法	依存症病棟回診	外来診療(陪診)	外来診療(陪診)
16:00~17:00		講義(検査法など)	病棟業務	講義(論文指導など)	症例検討

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 講義(精神科診療基本マニュアル、精神保健福祉法等)
5月	
6月	日本精神神経学会参加(任意)
7月	北海道精神神経学会参加 症例報告(学会、指定医取得など最低2例)作成開始
8月	教室夏期セミナー
9月	
10月	第1回 症例報告作成完了(学会発表、誌上発表、指定医取得など)
11月	院内研究発表作成完了(12月発表)
12月	同門会出席 北海道精神神経学会参加(演題発表を目指す)
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書作成 第2回 症例報告作成完了(学会発表、誌上発表、指定医取得など)

⑦石橋病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:00~9:30	病棟業務	症例検討	病棟業務	病棟業務	病棟業務
9:30~12:30		病棟業務	デイケア等		外来診療（陪診）
12:30~12:50	—	医局会議	—	—	—
13:30~16:00	クリニック外来 （病棟業務）	作業療法	依存症病棟回診	外来診療（陪診）	外来診療（陪診）
16:00~17:00		講義（検査法など）	包括的地域ネット ワークの学習（外 勤）	講義（論文指導な ど）	症例検討

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 講義（精神科診療基本マニュアル、精神保健福祉法等）
5月	
6月	日本精神神経学会参加（任意）
7月	北海道精神医学会参加 症例報告（学会、指定医取得など最低2例）作成開始
8月	夏期セミナー
9月	
10月	第1回目症例報告作成完了（学会発表、誌上発表、指定医取得など）
11月	院内研究発表作成完了（12月発表）
12月	同門会出席 北海道精神医学会参加（演題発表を目指す）
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書作成 第2回め症例報告作成完了（学会発表、誌上発表、指定医取得など）

## ⑧大江病院

### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30～ 9:15	病棟朝カンファ	病棟朝カンファ	病棟朝カンファ	病棟朝カンファ	病棟朝カンファ
9:15～ 12:15	病棟回診	外来業務	病棟回診	外来業務	病棟業務
13:15～ 14:00		病棟カンファ		病棟カンファ	医局カンファ
14:00～ 17:30	外来業務	外来業務	院外研修	病棟業務	病棟業務

### 年間スケジュール

4月	オリエンテーション 十勝精神科医会参加
5月	帯広三病院勉強会開催
6月	日本精神神経学会総会参加（任意） 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	北海道精神神経学会参加 帯広三病院勉強会開催
8月	札幌医科大学神経精神医学教室夏期セミナー参加
9月	帯広三病院勉強会開催
10月	
11月	帯広三病院勉強会開催
12月	北海道精神神経学会参加
1月	帯広三病院勉強会開催
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成



⑨北の峰病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:30～12:30	外来診療	病棟業務	病棟業務	外来診療	病棟業務
13:30～17:00	病棟業務	病棟予備日 (書類作成、家族等との面談)	病棟予備日 (書類作成、家族等との面談)	病棟業務	外来診療

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	北海道精神神経学会
8月	教室夏季セミナー
9月	
10月	
11月	
12月	北海道精神神経学会
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

## ⑩五稜会病院

### 週間スケジュール

- 土曜日は第2と第4土曜日

曜日	月	火	水	木	金	土
8:45～9:05	全体ミーティング	全体ミーティング	全体ミーティング	全体ミーティング	全体ミーティング	全体ミーティング
9:05～9:15	医局カンファ	医局カンファ	医局カンファ	医局カンファ	医局カンファ	医局カンファ
9:15～12:30	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来
13:30～14:30	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来	ア症集団療法	回診	病棟・外来
15:00～16:00	病棟・外来	ア症勉強会	病棟・外来	女性ミーティング	病棟・外来	病棟・外来
16:00～17:00	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来
17:00～17:30	夕方ミーティング	夕方ミーティング	夕方ミーティング	夕方ミーティング	夕方ミーティング	夕方ミーティング

全体ミーティング：医師全員、病棟師長、各部門の所属長が集まり情報共有

朝の医局カンファ：レントゲン読影、本日の業務についての確認、検討

夕方ミーティング：1日の出来事の振り返り。上級医と困った事例など検討します。

### 年間スケジュール

月	内容
4月	オリエンテーション、新人教育
5月	院内学会
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本精神神経学会北海道地方会参加
8月	7月～8月 1週間の夏休み（交替でとります）、教室夏期セミナー
9月	不定期で開催される研究会参加（任意）
10月	日本児童青年精神医学会参加（任意）
11月	
12月	日本精神神経学会北海道地方会参加
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

⑪札幌佐藤病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	外来	病棟予備 (ex. m-ECT)	病棟回診	往診
午後	講義	病棟予備 (ex. 家族面談)	明け休み	外来	病棟予備 (ex. レポート作成)
夜間		当直			

年間スケジュール

4月	研修開始 指定医必要症例のチェック	
5月	指定医レポート作成	
6月	指定医レポート指導医査読	日本精神神経学会
7月		北海道精神神経学会
8月	夏休み	
9月		日本臨床精神神経薬理学会
10月	専門医必要症例のチェック	日本老年精神医学会
11月	学会発表（希望者）	日本精神科医学会
12月		日本認知症学会
1月	専門医レポート作成開始	
2月	専門医レポート指導医査読	
3月	専門医レポート完成 上級医査読 研修プログラム評価報告書の作成	

⑫島松病院

週間スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:50 ～ 9:00	ミーティング カンファレンス	ミーティング カンファレンス	ミーティング カンファレンス	ミーティング カンファレンス	ミーティング カンファレンス
9:00 ～12:30	外来付 (指導医)	外来付 (指導医)	病棟対応 (指導医)	外来付 (指導医)	病棟対応 老健往診
13:30～ 17:00	デイケア (訪問看護) 病棟対応	作業療法 および病棟	病棟対応	作業療法 および病棟	論文指導

※院内研修会、担当者会議、デイケアカンファレンスは適宜行います

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 院内研修会(医療倫理)
5月	院内研修会(精神疾患)
6月	日本精神神経学会学術総会参加(任意)
7月	院内研修会(精神疾患) 日本精神神経学会北海道地方会参加 夏期セミナー参加
8月	
9月	
10月	院内研修会(褥瘡)
11月	
12月	日本精神神経学会北海道地方会参加
1月	院内研修会(感染症)
2月	院内研修会(AED)
3月	院内研修会(精神疾患、感染症)

### ⑬千歳病院

#### 週間予定表

	月	火	水	木	金	土	日
午前	回,	外	外		回		
午後	外, 発 G カ, レ	外, 依 G(1, 3, 5) 不 G(2, 4)	当, サマ(1) 北ダ (2) , マ (3) 薬 G (4)	巢, とダ(1) 女(2)	回		
就 労 時 間 以 降		断酒会 NA (1, 3)	AA		AA	GA	AA

デイケア、リワークは毎日。

回：指導医の回診 外：指導医の外来 カ：カンファレンス レ：レクチャー

依 G：依存症集団療法 不 G：不安障害集団療法 当：当事者研究 巢：巢立ちの会

薬 G：薬物依存集団療法 女：女性依存症と集団療法

サマ：サマリヤ館メッセージ 北ダ：北海道ダルクメッセージ マ：札幌マックメッセージ

とダ：とちダルクメッセージ

カンファレンス、レクチャーは必須である。

その他のグループ活動は、状況に応じて参加できる。

就労時間外の自助グループ参加はオプションである。

#### 年間予定表

4月	オリエンテーション
5月	安全委員会院内研修会、北海道ダルクフォーラム
6月	日本精神神経学会
7月	北海道精神神経学会
8月	病院夏祭り
9月	安全委員会院内研修会、日本森田療法学会
10月	アルコール・薬物関連合同学会、北海道精神神経学会学術研修会
11月	アディクションフォーラム
12月	資生会法人学会、北海道精神神経学会
1月	
2月	森田療法市民公開講座
3月	

その他、状況に応じて学会、研究会への参加は可能である。

⑭ときわ病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:50-9:00	入退院カンファ			入退院カンファ	
9:00-10:30	病棟業務	外来業務 重度認知症デイ	病棟業務	外来業務	病棟業務
10:30-12:30	療養B病棟回診	病棟業務	訪問看護	デイケア/ 外来OT	認知症病棟回診
12:30-13:30	昼休	昼休	昼休	昼休	昼休 (指導医面談)
13:30-15:30	病棟業務	研究/選択研修	救急病棟回診	療養D病棟回診	児童外来業務
15:30-17:00	医療安全会議等 (第2・3週)		講義/症例検討 外来カンファ	病棟業務	病棟業務

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会 (任意)
7月	北海道精神神経学会例会
8月	夏季交流会参加
9月	
10月	北海道精神神経学会学術研修会
11月	
12月	北海道精神神経学会例会
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価

⑮中江病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
朝	ECT		ECT		ECT	
午前	もの忘れ専門 外来 (陪席、 新患予診)	一般外来 (陪席、 新患予診)	一般外来 (陪席、 新患予診)	一般外来 (陪席、 新患予診)	一般外来 (陪席、 新患予診)	原則、お休み。希 望があれば、待機 医による病棟申し 送り・回診
昼		薬の説明会 (弁当あり)				
午後	カンファレンス (入退院紹介) 病棟業務	病棟業務 自己学習(文献 検索など)	病棟業務 クルズス	医局会 病棟業務 SST、デイケア	病棟業務 自己学習(文献 検索など)	

年間スケジュール

4月	オリエンテーション、精神保健指定医/専門医レポート作成および指導(通年)
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加(任意)
7月	北海道精神神経学会例会参加(札幌) 札幌医科大学神経精神医学講座夏季セミナー参加
8月	夏季休暇(時期をずらしても可)
9月	
10月	北海道精神神経学会学術研修会参加(札幌)
11月	
12月	北海道精神神経学会例会参加(札幌)
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成 総括的評価

※その他 希望する研修、講習会等にも参加可。

⑩長野病院

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金	土
8:30-8:50	医局カンファレンス	医局カンファレンス	医局カンファレンス	医局カンファレンス	医局カンファレンス	医局カンファレンス
8:50-9:00	病棟ミーティング*	病棟ミーティング*	病棟ミーティング*	病棟ミーティング*	病棟ミーティング*	病棟ミーティング*
9:00-12:00	~11:30 外来業務 11:30~ 症例検討会	外来業務	外来業務	総回診 (東2・3・ 4・5病棟)	外来業務	外来業務
13:30-17:00	外来業務 又は病棟業務	外来業務 又は病棟業務	外来業務 又は病棟業務	総回診 (新2・3病棟)	外来業務 又は病棟業務	

【年間行事予定表】

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加(任意)
7月	日本うつ病学会参加(任意)
8月	夏季セミナー参加
9月	
10月	日本アルコール・アディクション医学会参加(任意)
11月	
12月	日本認知症学会学術集会参加(任意)
1月	
2月	日本不安症学会参加(任意)
3月	研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会参加(任意)



⑰平岸病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30 - 9:30	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
9:30 - 12:00	外来業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	クリニック 研修
13:00 - 13:30	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ	TV カンファ
13:30 - 14:30 14:30 - 17:30	外来業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	クリニック 研修

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	札幌医科大学（基幹施設）合同夏季セミナー
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

⑱大通公園メンタルクリニック

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:00-9:40	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ 勉強会	朝カンファ	朝カンファ
9:40-12:30	外来業務 デイケア業務	外来業務 デイケア業務	デイケア業務	外来業務 デイケア業務	外来業務 デイケア業務
13:30-17:00	外来業務 デイケア業務	外来業務 心理療法	外来業務 講義	外勤(帯広刑 務所等)	外来業務 デイケア業務
17:00-18:00	医局会(月1回/ 薬物療法勉強会 兼ねる)				

年間スケジュール

4月	オリエンテーション, 北海道精神神経科診療所協会の勉強会, 北海道森田療法研究会
5月	北海道森田療法研究会, 司法関係の勉強会
6月	日本精神神経学会, 北海道森田療法研究会
7月	条件反射制御法学会(嗜癖治療の学習), 北海道精神神経科診療所協会の勉強会, 北海道森田療法研究会, 司法関係の勉強会
8月	北海道森田療法研究会
9月	北海道精神神経科診療所協会の勉強会, 北海道森田療法研究会, 司法関係の勉強会
10月	北海道森田療法研究会
11月	日本森田療法学会, 北海道精神科リハビリテーション研究会, 北海道精神神経科診療所協会の勉強会, 司法関係の勉強会
12月	北海道精神神経学会例会参加・演題発表, 北海道森田療法研究会
1月	北海道森田療法研究会, 司法関係の勉強会
2月	北海道森田療法研究会
3月	総括評価

⑱ 幹メンタルクリニック

週間スケジュール

\*火曜日、水曜日を研修日とする

	火曜日	水曜日
午前	外来	スタッフ会議、外来(10:00-)
13:00	アルコール専門外来	依存症者対象の認知行動療法に参加
14:00	集団精神療法参加	
15:00	症例検討会	
18:00	自助グループ見学（自由参加）	自助グループ見学（自由参加）

⑳杏林大学医学部付属病院

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年度研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	病院連携研究会への参加
6月	日本精神神経学会への参加 日本睡眠医学会への参加（任意）
7月	日本うつ病学会への参加（任意） 東京精神医学会への参加・演題発表
8月	日本神経精神薬理学会への参加（任意）
9月	病院連携研究会への参加
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出
11月	日本臨床精神神経薬理学会への参加（任意） 東京精神医学会への参加・演題発表 日本認知療法・認知行動療法学会への参加（任意） 日本総合病院精神医学会への参加（任意）
12月	研修プログラム委員会開催
1月	
2月	学内外研究会での発表
3月	東京精神医学会への参加・演題発表 1・2・3年目専攻医研修報告書作成 研修プログラム評価報告書作成
	その他、適宜院内や医師会の開催する医療安全や感染対策、医療倫理などに関する研修会・講習会に参加する。

②1 福岡大学病院

福岡大学病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	
8:40~9:30	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	
9:30~12:00	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療	
	チーム ミーティング	閉鎖病棟 カンファレンス	デイケア	デイケア	チーム ミーティング	
13:00~17:30	病棟回診	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟 コミュニティ ミーティング	
	症例検討会	リエゾン回診				
	外来 カンファレンス		リエゾン カンファレンス	デイケア or 病棟診療	デイケア or 病棟診療	
	助手勉強会	医局会				病棟 カンファレンス

②九州大学病院

年間スケジュール

4月	オリエンテーション SR1 研修開始 SR2・3 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出 研修医グラウンドラウンド（毎月開催）
5月	教室研究会参加 福岡精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	九州地区 11 大学合同研修会
9月	福岡精神科集談会参加 日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	SR1・2・3 研修中間報告書提出 教室研究会参加 日本児童青年医学会参加（任意） 日本認知・行動療法学会参加（任意）
11月	九州精神神経学会参加・演題発表
12月	研修プログラム管理委員会開催
1月	福岡精神科集談会参加
2月	日本不安症学会参加（任意）
3月	SR1・2・3 研修報告書 研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会（任意）

九州大学病院  
週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00		病棟カンファ 抄読会			
9:00-12:00	病棟医長回診 病棟業務	外来予診 リエゾン	病棟業務	外来予診 リエゾン	病棟業務
13:00-16:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	教授回診	病棟業務
16:00-18:00	チームカンファ	病棟業務	論文輪読会	医局会	病棟業務
18:00-20:00	行動療法カン ファ		精神分析セミ ナー	精神医学セミ ナー(不定期)	

②江別すずらん病院

週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟診察	外来診察(予診) 指導医診察陪席	病棟診察	外来診察 (予診) 指導医診察 陪席	病棟診察
午後	病棟集団療法 参加 自己学習	医療保護入院患者 等診察陪席 もしくは外来デイケ ア参加	病棟症例 検討会	訪問看護 同行	認知症患者等診 察陪席 もしくは外来デイ ケア参加
17時 以降				抄読会参加	

年間予定表

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会 参加(任意) 日本老年精神医学会 参加(任意) 日本小児精神神経学会 参加(任意)
7月	北海道精神神経学会例会
8月	
9月	
10月	北海道精神神経学会例会 学術研修会
11月	
12月	北海道精神神経学会例会
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

長期休暇取得：リフレッシュ休暇として1週間程度の休暇を年1回、任意の期間に取得していただきます。



②④九州医療センター

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	教室研究会参加 福岡精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	福岡精神科集談会参加 福岡臨床と脳波懇話会参加 精神身体合併症研究会参加・演題発表
10月	教室研究会参加 福岡臨床と脳波懇話会参加・判読担当
11月	九州精神神経学会参加・演題発表 福岡臨床と脳波懇話会参加・演題発表
12月	福岡臨床と脳波懇話会参加・判読担当
1月	福岡精神科集談会参加
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成 精神身体合併症研究会参加・演題発表

九州医療センター  
週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-8:40	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
8:40-12:00	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診
13:30-14:00	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ	昼カンファ
14:00	研究会発表予行 抄読会	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15:30-17:15	病棟業務	医長回診			医長回診

②⑤小倉医療センター

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 指導医の指導実績報告提出 北九州精神科集談会（毎月）
5月	福岡精神科集談会
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	九州地区 11 大学合同研修会
9月	福岡精神科集談会参加
10月	研修中間報告書提出
11月	九州精神神経学会学術総会参加・演題発表 日本総合病院精神学会参加（任意）
12月	プログラム管理委員会
1月	福岡精神科集談会参加
2月	日本不安症学会参加（任意）
3月	研修プログラム評価報告書の作成 小倉医療センター医局集談会参加・演題発表

小倉医療センター  
週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	病棟業務	外来診察 (再診)	外勤日	外来診察 (新患)	外来診察 (再診)
9:00-12:00	修正電気けい れん療法			初年度は予診	
13:00-16:00	病棟業務	リエゾン・コン サルテーション		病棟カンファレ ンス	リエゾン・コン サルテーション
16:00-18:00		病棟業務		医局カンファレ ンス	病棟業務
18:00-20:00					論文抄読会

②⑥福岡県立精神医療センター太宰府病院

年間スケジュール

4月	新入職者オリエンテーション（医療安全教育、保険診療等）
5月	福岡精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科救急学会参加 福岡精神科集談会参加
11月	
12月	九州精神神経学会参加・演題提出
1月	
2月	
3月	

福岡県立精神医療センター太宰府病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察
9:00-12:00	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務
13:00-16:00	薬物研修会	病棟業務 研修医講義	病棟業務	病棟業務 研修医講義	医局会 入退院カンファレンス
16:00-18:00	司法精神医学 脳波等研究会	病棟業務	病棟業務 研修医講義	病棟業務	レジデントカンファレンス
18:00-20:00					